

2025年度 教育課程

柔道整復科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年	2年	3年	講義概要		
基礎分野	科学的思考の 基礎・人間と生活										
	セルフプロモーション論 Self-promotion Theory	必修	講義	30	(2)	30			「こころ」と「からだ」の健康を自らコントロールする知識を修得し説明できる。		
	コミュニケーション入門 Intoroduction to Comunication	必修	講義	30	(2)	30			コミュニケーションに必要な知識を修得し説明できる。		
	生活習慣と健康 Lifestyle and Health	必修	講義	30	(2)	30			健康的な生活習慣の重要性に対する知識を修得し説明できる。		
	医療英語 Medical English	必修	講義	40	(2)	40			グローバルな感性を養い、コミュニケーションに必要な英会話を修得し会話ができる。		
	保健体育 Health and Physical Education	必修	演習	90	(6)	90			体育としての柔道を通して、礼法や受身、形を修得し実践できる。		
専門基礎分野	人体の構造と機能		解剖学Ⅰ Anatomy I	必修	講義	80	(4)	80		柔道整復師に必要な人体の構造を中心とした基礎的な解剖学知識を修得し説明できる。	
			解剖学Ⅱ Anatomy II	必修	講義	80	(4)	80		柔道整復師に必要な人体の構造を中心とした基礎的な解剖学的知識を修得し説明できる。	
			解剖・運動学 Anatomy and Kinesiology	必修	講義	60	(3)	60		運動器系の構造に関する事項についての知識を修得し説明できる。	
			生理学Ⅰ Physiology I	必修	講義	80	(4)	80		人体機能を中心とした基礎的な生理学的知識を修得し説明できる。	
			生理学Ⅱ Physiology II	必修	講義	80	(4)		80	人体機能を中心とした基礎的な生理学的知識を修得し説明できる。	
			高齢者・競技者の 生理学的特徴・変化 Physiological Change and Feature of The Elderly and Athletes	必修	講義	40	(2)		40	高齢者・競技者の特徴を理解し、身体機能の維持・改善における運動訓練の影響についての知識を修得し説明できる。	
			解剖・生理学 Anatomy and Physiology	必修	講義	60	(3)			60	人体の構造と機能を関連付けた知識を修得し説明できる。
			運動学 Kinesiology	必修	講義	60	(3)	60			運動に関わる身体の機能と構造についての知識を修得し説明できる。
			病理学概論 Pathology	必修	講義	60	(3)		60		疾病の原因・各種疾患についての知識を修得し説明できる。
			一般臨床医学 Medical Science Lecutures	必修	演習	80	(4)		80		柔道整復師として必要な診察法、検査法および、代表的な内科疾患についての知識を修得し説明できる。
疾病と障害		外科学概論 Surgery	必修	講義	60	(3)		60		手術によって創傷および疾患の治療を目指す外科学の基礎的な知識を修得し説明できる。	
		整形外科学 Orthopedic Surgery	必修	講義	60	(3)			60	整形外科における各疾患別の症例等についての知識を修得し説明できる。	
		リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	必修	講義	80	(4)		80		リハビリテーション医学の基本的な知識、評価法、診断等の知識を修得し説明できる。	

2025年度 教育課程

柔道整復科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年	2年	3年	講義概要
専門基礎分野	術の 柔道 適整 復 Adapting to Judo Therapy	必修	講義	40	(2)		40		適切な柔道整復術を行う為に柔道整復が適応されるか否かの判断能力を修得し説明できる。
	保健学・公衆衛生学 Public Health	必修	講義	60	(3)			60	医療従事者として必要な健康や保健に関する概念の幅広い知識を修得し説明できる。
	関係法規 Regulation	必修	講義	40	(2)			40	柔道整復師として必要な基本的法規を修得し説明できる。
	職業倫理 Professional Ethics	必修	講義	20	(1)	20			医療従事者の倫理、社会適応能力等を修得し説明できる。
	柔道 I Judo I	必修	演習	30	(1)		30		柔道の基本的な礼法や技法について修得し実践できる。
	柔道 II Judo II	必修	演習	60	(2)			60	柔道の基本的な礼法や技法について修得し実践できる。
社会 制度 保障 Social Security System	必修	講義	20	(1)		20		生涯を通じて障害の状態に応じた社会資源を活用する為に必要な知識を修得し説明できる。	
専門分野	柔道整復学 I Judo Therapy I	必修	講義	80	(4)	80			骨折学の総論を中心とした知識を修得し説明できる。
	柔道整復学 II Judo Therapy II	必修	講義	80	(4)	80			脱臼・軟部組織損傷の総論を中心とした知識を修得し説明できる。
	柔道整復学 III Judo Therapy III	必修	講義	80	(4)		80		骨折学の基礎的疾患から応用までの対処法等の知識を修得し説明できる。
	外傷の保存療法 Conservative Therapy of External Injuries	必修	講義	20	(1)		20		外傷の保存療法における経過および治療方法についての知識を修得し説明できる。
	臨床柔道整復学 I Clinical Judo Therapy I	必修	講義	90	(4)		90		臨床現場における軟部組織損傷の応用についての知識を修得し説明できる。
	臨床柔道整復学 II Clinical Judo Therapy II	必修	講義	60	(3)			60	臨床現場における骨折学の応用についての知識を修得し説明できる。
	臨床柔道整復学 III Clinical Judo Therapy III	必修	講義	60	(3)			60	臨床現場における脱臼学の応用についての知識を修得し説明できる。
	臨床柔道整復学 IV Clinical Judo Therapy IV	必修	講義	60	(3)			60	臨床現場で必要となるであろう損傷・疾患について総合的な知識を修得し説明できる。
	臨床柔道整復学 V Clinical Judo Therapy V	必修	講義	20	(1)			20	臨床現場で必要となるであろう損傷・疾患について総合的な知識を修得し説明できる。
	物理療法機器等の取り扱い Handling of Physical Therapy Instruments	必修	講義	20	(1)	20			物理療法機器の原理・作用等を学び、その適切な取り扱いについての知識を修得し説明できる。
	柔道整復術適応の臨床的判定 Clinical Decision for Adapting Judo Therapy Treatment	必修	講義	40	(2)			40	柔道整復術の適応で得た知識を活用し、臨床的所見から適応の可否を判断できる知識を修得し説明できる。
	実践臨床柔道整復学 Practicing Clinical Judo Therapy	必修	講義	120	(6)			120	臨床現場で遭遇する可能性のある疾患・損傷についての総合的な知識を修得し説明できる。

2025年度 教育課程

柔道整復科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年	2年	3年	講義概要
専門分野	競技者の外傷予防 Injury Prevention for Athletes	必修	演習	40	(2)		40		競技者の生理学的特徴・変化で得た知識を活用し、具体的な外傷予防の手法についての知識を修得し説明できる。
	基礎 柔道整復実技 Basic Judo Therapeutic Lab	必修	実技	90	(3)	90			触診技術を学び人体の構造を理解した上で、包帯を用いて基本包帯法の知識と技術を修得し実践できる。
	柔道整復実技 I Advanced Judo Therapeutic Lab I	必修	実技	90	(3)		90		骨折の整復法に関する知識と技術を修得し実践できる。
	柔道整復実技 II Advanced Judo Therapeutic Lab II	必修	実技	90	(3)		90		脱臼の整復法、軟部組織損傷の検査法等の知識と技術を修得し実践できる。
	柔道整復実技 III Advanced Judo Therapeutic Lab III	必修	実技	60	(2)			60	臨床現場にて遭遇すると予想される外傷に対する対処法の知識と技術を修得し実践できる。
	柔道整復実技 IV Advanced Judo Therapeutic Lab IV	必修	実技	60	(2)			60	臨床現場にて遭遇すると予想される外傷に対する対処法の知識と技術を修得し実践できる。
	柔道整復実技 V Advanced Judo Therapeutic Lab V	必修	実技	30	(1)	30			柔道整復師として臨床において必要な知識・技術や患者への接し方等を修得し実践できる。
	柔道整復実技 VI Advanced Judo Therapeutic Lab VI	必修	実技	30	(1)			30	柔道整復師として臨床において必要な知識・技術や患者への接し方等を修得し実践できる。
臨床実習	臨床実習 Clinical Practice	必修	実技	180	(4)	45	90	45	柔道整復師として臨床における実践的能力および保険の仕組みに関する知識を習得し、患者への適切な対応についての知識と技術を修得し実践できる。

2025年度 教育課程

柔整スポーツコース

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年	2年	3年	講義概要
スポーツ 選択科目	運動 障害 と 予防	テーピング Taping	選択	演習	80	(4)	80			ケガの予防、再発防止、応急処置のためにテーブ等を用い、主に「関節」を補強し、運動に支障のない範囲で動きを制限する知識・技術を修得し実践できる。
	プログラム	プログラムデザイン Program Design	選択	演習	40	(2)			40	対象者別のトレーニングプログラムの作成方法を学び、指導ができる知識・技術を修得し実践できる。
		ケア&コンディショニング Care & Conditioning	選択	演習	80	(4)	80			スポーツ選手に対するケアやコンディショニング方法を学び、臨床現場で応用できる知識・技術を修得し実践できる。
	手技療法	手技療法 I Manual Therapy I	選択	演習	40	(2)	40			物理的刺激により各組織（皮膚、筋、関節）にアプローチする知識・技術を修得し実践できる。
		手技療法 II Manual Therapy II	選択	演習	80	(4)		80		物理的刺激により各組織（皮膚、筋、関節）にアプローチする知識・技術を修得し実践できる。
	演習	レジスタンストレーニング Resistance Training	選択	演習	40	(2)	40			対象者別のトレーニング方法を学び、指導ができる知識・技術を修得し実践できる。
		NSCA試験対策 NSCA Exam Preparation	選択	演習	80	(4)			80	NSCA認定パーソナルトレーニング資格取得可能な知識を修得し実践できる。

2025年度 教育課程

鍼灸科 コース共通

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年	2年	3年	講義概要
基礎分野	科学的 思考の 基盤・ 人間と 生活	一般教養1 General Education 1	必修	演習	30	(2)	30			社会で活躍する医療人として備えておくべき教養を修得することができる。
		一般教養2 General Education 2	必修	演習	30	(2)	30			社会で活躍する医療人として備えておくべき教養を修得することができる。
		一般教養3 General Education 3	必修	演習	30	(2)	30			社会で活躍する医療人として備えておくべき教養を修得することができる。
		一般教養4 General Education 4	必修	演習	30	(2)	30			社会で活躍する医療人として備えておくべき教養を修得することができる。
		外国語 Foreign Language	必修	講義	30	(2)		30		グローバルな感性を養い、コミュニケーションに必要な英会話や医療用英語を修得することができる。
		セルフプロモーション Carrier and Self-Promotion	必修	講義	30	(2)	30			自分自身を理解しながら主体性を養い、自らの意思で人生を歩むための行動力を修得することができる。
		コミュニケーション Communication	必修	講義	30	(2)	30			医療従事者として必要なコミュニケーションについて学び、患者様と信頼関係が構築できるようになる。
専門基礎分野	人体の 構造と 機能	解剖生理学 Anatomical Physiology	必修	講義	330	(11)	180	150		鍼灸師に必要な基礎的な解剖学的知識と生命現象について学び、臨床に活かすことができるようになる。
		運動学 Kinesiology	必修	講義	30	(1)		30		人体の構造をもとに神経・筋・感覚器の機能を理解しつつ運動の発現・エネルギー代謝について学び、臨床に活かすことができるようになる。
	疾病の 成り立ち・ 予防及び 回復の 促進	病理学概論 Pathology	必修	講義	60	(2)			60	病理学の学習を通じて各種疾患の病態を把握できるようになる。
		臨床医学総論 Clinical Medicine General Remarks	必修	講義	60	(2)	60			西洋医学的に行われる診察及び検査法について学び、必要な専門用語を修得することにより臨床現場で病態が説明できるようになる。
		臨床医学各論 Clinical Medicine Itemized Discussion	必修	講義	180	(6)	30	90	60	各疾患について原因・症状・診断・治療などを西洋医学的な見地から総合的に学習し、他の医療従事者と相互に病態を理解できるようになる。
		リハビリテーション Rehabilitation Medicine	必修	講義	60	(2)		60		リハビリテーション医学の基本的な知識・評価法・診断・技術など実践的な内容を学習し、臨床で活かすことができるようになる。
		公衆衛生学 Public Health	必修	講義	60	(2)			60	健康の概念・理念・倫理を幅広く理解し、医療従事者として疾病の予防・健康の増進に寄与することができるようになる。
はりきゅうの 理念と 保健医療 福祉と	社会保障制度 Social Security System	必修	講義	15	(1)			15	健康保険などはり師・きゅう師を取り巻く社会制度について学び、臨床に活かすことができる。	

2025年度 教育課程

鍼灸科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年	2年	3年	講義概要	
専門分野	基礎 はりきゅう学	東洋医学概論 Traditional Chinese Medicine Introduction	必修	講義	150	(5)	120	30		東洋医学的な理論として自然観・疾病の原因・病理学像などを学び、東洋医学的診断の基礎知識を修得できる。
		経絡経穴概論 Outline of the Meridian and Acupuncture Points	必修	講義	120	(4)	120			経絡・経穴の概念・経穴の位置・機能などを学び、はりきゅう臨床の基礎的知識を構築することができるようになる。
	臨床 はりきゅう学	臨床経絡経穴学 Clinical Meridian and Acupuncture Points	必修	演習	60	(2)		60		経絡経穴概論で学んだことをより実践的な内容で学習し、臨床に活かすことができるようになる。
		東洋医学臨床論 Traditional Chinese Medicine Clinical Theory	必修	講義	180	(6)		90	90	東洋医学概論や経絡経穴概論で学んだ知識をもとに東洋医学的な診断・治療を行うことができる。
		あはきの適応 Patient Assessment for Massage, Acupuncture and Moxibustion Treatments	必修	演習	30	(1)		30		種々の疾患に対するはり・きゅう術の適応範囲を学び、適応外の疾患に対しても適宜対応することができるようになる。
		臨床生理学 Clinical Physiology	必修	演習	30	(1)			30	はり・きゅう刺激が健常人の生理作用に対して及ぼす変化について説明することができる。
		生体観察学 Physical Examination	必修	演習	30	(1)			30	体表観察を通して望診法・切診法の技術を磨き、施術部位を的確に見極められるようになる。
		臨床組織学 Clinical Histology	必修	演習	30	(1)	30			細胞・組織レベルでの解剖学の理解を深め、臨床に活かすことができるようになる。
		病態生理学 Clinical Physiology	必修	演習	30	(1)			30	病気に至る過程やその過程で考えられる病理変化について学び、はり・きゅう刺激が病態に及ぼす変化について説明することができる。
	社会 はりきゅう学	はりきゅう理論 Theory of Acupuncture and Moxibustion	必修	講義	60	(2)		60		はり・きゅうの治効理論、生体への効果などを研究結果を交えて学習し、説明することができる。
		関係法規 Regulations	必修	講義	30	(1)			30	あはき法に記載されているはり師・きゅう師として必要な基本的法規を学び、臨床に活かせる。
	実習	はりきゅう実技 Acupuncture and Moxibustion Practical Skills	必修	実技	420	(14)	150	120	150	鍼を刺す、灸をすえるといったはり師・きゅう師として最も基本となる技術を修得する。
		臨床実習前 施術実技試験対策 Clinical Practice Skills Lecture	必修	実技	30	(1)		30		1・2年次に修得した基本的技術をもとにした実践的な内容の講義により、3年次の臨床実習に臨めるようになる。
	臨床実習	臨床実習 Clinical Practice	必修	実習	180	(4)		45	135	臨床現場での実習を行うことで、より高度な知識や技術を修得するとともにはり師・きゅう師としてのあるべき姿勢などを身につけることができる。
	総合領域	総合領域 Synthesis Realms	必修	講義	300	(10)	60	60	180	国家試験に向けて、各科目の学習によって得られた知識をさらに深め、充実させるためにすべての科目を復習し、応用力を高め、身につけることができる。

2025年度 教育課程

鍼灸科 美容スポーツコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年	2年	3年	講義概要		
美容 選択科目	演習	エステティック技法1 Esthetic Technique 1	選択	演習	30	(2)		30		総合的な美容法の知識・技術を修得し、実践できるようになる。	
		エステティック技法2 Esthetic Technique 2	選択	演習	30	(2)		30		総合的な美容法の知識・技術を修得し、実践できるようになる。	
		美容はり1 Acupuncture and Moxibustion Beauty Skills 1	選択	演習	30	(2)		30		鍼灸を用いた美容法を幅広く学び、技術を修得し、実践できるようになる。	
		美容はり2 Acupuncture and Moxibustion Beauty Skills 2	選択	演習	30	(2)		30		鍼灸を用いた美容法を幅広く学び、技術を修得し、実践できるようになる。	
		美容はり3 Acupuncture and Moxibustion Beauty Skills 3	選択	演習	30	(2)		30		鍼灸を用いた美容法を幅広く学び、技術を修得し、実践できるようになる。	
	エウサササイズ	ヨーガ Yoga	選択	演習	30	(2)		30		フィットネスヨーガについての知識を修得し、能力を身につけ、実践できるようになる。	
	ヘルス ビュー ティ ー	メイク1 Make-up 1	選択	演習	30	(2)		30		メイクの基本となる知識・技術を学び、顧客のニーズやイメージに合わせたメイクアップ実践能力を身につけることができる。	
		メイク2 Make-up 2	選択	演習	30	(2)		30		メイクの基本となる知識・技術を学び、顧客のニーズやイメージに合わせたメイクアップ実践能力を身につけることができる。	
		ネイル Nail	選択	演習	30	(2)		30		ネイルケアの基礎知識とともに、爪のカラーやアートを描く技法・技術を修得する。	
		アロマ Aromatherapy	選択	演習	30	(2)		30		アロマセラピーの種類や使用方法、それらのアドバイス法の知識を修得し、検定資格を取得する。	
	スポ ー ツ 選 択 科 目	人体 の 構 造 と 機 能	NSCA対策1 NSCA Test Preparation 1	選択	講義	30	(2)		30		NSCA資格取得に必要な基礎知識を講義形式にて学び、資格試験に対応できるようになる。
			NSCA対策2 NSCA Test Preparation 2	選択	演習	30	(2)		30		NSCA資格取得に必要な基礎知識を実技を通して学び、資格試験に対応できるようになる。
		運 動 障 害 と 予 防	スポーツ傷害① Sports Injury Theory 1	選択	演習	30	(2)		30		運動に生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーピング固定が行えるようになる。
			スポーツ傷害② Sports Injury Theory 2	選択	演習	30	(2)		30		運動に生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーピング固定が行えるようになる。
運 動 プ ロ グ ラ ミ ン グ		体力測定 Physical Fitness Test	選択	演習	30	(2)		30		健康や体力テストに関するデータをもとに分析及び実践指導が行えるようになる。	
		コンディショニング Conditioning	選択	演習	30	(2)		30		運動能力の向上、疲労回復などを目的とした身体の調整を行うための知識・技術を修得する。	
		スポーツ医学 Sports Medicine	選択	講義 演習	30	(2)		30		整形外科的障害や内科的疾患を有する人々のスポーツ医学に対する基礎知識を学び、スポーツ復帰するまでのリハビリテーションが行えるようになる。	
演 習		NSCA対策演習 NSCA Test Practice	選択	講義	30	(2)		30		NSCA資格取得に必要な応用知識を講義形式にて学び、資格試験合格に必要な知識・技術を修得する。	
		レジスタンストレーニング1 Resistance Training Method Theory	選択	演習	30	(2)		30		種々の器具の使用法・効果を学び、対象者に応じた筋力トレーニングを指導できるようになる。	
		レジスタンストレーニング2 Resistance Training Method Theory	選択	演習	30	(2)		30		種々の器具の使用法・効果を学び、対象者に応じた筋力トレーニングを指導できるようになる。	

2025年度 教育課程

救急救命公務員科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的思考の基盤											
	情報科学 Information Science	必修	演習	30	(2)	30						Excel・Word・PowerPointの基本操作を学び、文章作成や表計算・プレゼンテーション等に必要な資料作成ができるようになる。
	英会話・医学英語 English Conversation・ Medical English	必修	演習	30	(2)	30						医療従事者として必要とされる日常英会話の基礎を学び、グローバル化している現代社会において順応な対応ができるようになる。
	人間と人間生活・一般教養											
	生命・医学倫理 Life・Medicine Theory	必修	講義	15	(1)	15						生命の尊さを認識し、人の誕生から死までの間に起こりうる出来事を学び、倫理的基盤を身につけ、医療人として対応することができるようになる。
	臨床心理学 Clinical Psychology	必修	講義	15	(1)	15						心理学の基礎的知識や臨床的知識を学び、救急救命士として現場で適切な対応ができるようになる。
	コミュニケーション論 Communication Theory	必修	演習	30	(2)	30						医療従事者として必要なコミュニケーションについて学び、社会で必要とされるルールやマナーを理解し、就職について主体性・計画性を持って行動することができるようになる。
専門基礎分野	人体の機能構造											
	解剖生理学 Anatomical Physiology	必修	講義	90	(6)	90						人体を構成する要素や人体の各器官の位置関係、人体の構造と機能について系統的に説明できるようになる。
	疾病と回復過程											
	病理学 Pathology	必修	講義	30	(2)		30					炎症と感染、循環・代謝障害、退行性・進行性病変、先天性異常等を学び、各疾病の成り立ちと回復の過程について説明できるようになる。
	薬理学 Pharmacology	必修	講義	30	(2)		30					各種薬剤の薬理作用や適応、生体に及ぼす影響について学び、救急現場において、傷病者の有用な情報源として判断し、適切な現場活動ができるようになる。
健康と社会保障												
	公衆衛生学 Public Health	必修	講義	15	(1)		15					近年の少子高齢化や保健所の役割、学校・母子保健、精神保健福祉等について学び、保健医療制度の仕組みと現状について説明できるようになる。
	社会保障・社会福祉 Social Security・ Social Welfare	必修	講義	15	(1)		15					社会保障と社会福祉の理念や医療・介護・年金保険制度、生活保護等について学び、現在の社会保障と社会福祉を支える仕組みについて説明できるようになる。

2025年度 教育課程

救急救命公務員科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	救急医学概論											
	病院前医療概論 I Introduction to Prehospital Care I	必修	講義	30	(2)	30						救急・災害・病院前医療体制と、消防機関における救急活動の流れを学び、救急現場において適切な病院選定や救急活動ができるようになる。
	病院前医療概論 II Introduction to Prehospital Care II	必修	講義	30	(2)	30						病院前救護活動における救急救命士の役割と責任について学び、救急救命士として法令及び安全管理を遵守した現場活動ができるようになる。
	救急救命処置概論 I Introduction to Emergency Care I	必修	講義	30	(2)		30					病態・疾病によって全身や局所に認める特徴的な症状について学び、救急現場において傷病者の適切な観察と緊急度・重症度判別ができるようになる。
	救急救命処置概論 II Introduction to Emergency Care II	必修	講義	45	(3)		45					救急現場で使用する資器材やその資器材を用いて救急救命士が行う観察・蘇生法・処置について学び、適切な資器材選定と傷病者への対応ができるようになる。
	救急症候・病態生理学											
	救急病態生理学 I Emergency Pathophysiology I	必修	講義	30	(2)			30				呼吸・循環不全・心肺停止の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。
	救急病態生理学 II Emergency Pathophysiology II	必修	講義	45	(3)			45				神経系に関する疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。
	救急症候学 Emergency Symptomatology	必修	講義	45	(3)				45			各種疾患の症候・病態生理を学び、救急現場において適切な観察・評価・救急処置ができるようになる。
	疾病救急医学											
	疾病救急医学 I Emergency Medicine I	必修	講義	45	(3)			45				神経・呼吸・循環器系の主な疾患の発生機序、症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。
	疾病救急医学 II Emergency Medicine II	必修	講義	45	(3)			45				消化・泌尿・内分泌・血液・皮膚・感覚系の主な疾患の発生機序や症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。
	疾病救急医学 III Emergency Medicine III	必修	講義	30	(2)				30			筋・骨格系、感染症の主な疾患の発生機序、症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。
	疾病救急医学 IV Emergency Medicine IV	必修	講義	45	(3)				45			小児・高齢者・周産期・精神障害の特殊性とその発生機序、症状を学び、救急現場において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。
	外傷救急医学											
	外傷総論 General Introduction to Trauma	必修	講義	15	(1)		15					外傷についての傷病者の評価や受傷機転、発生機序、ショックを学び、外傷時の現場活動において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。
外傷各論 Trauma	必修	講義	60	(4)			60				各部位における外傷の受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等を学び、外傷時の現場活動において必要な救急処置や適切な対応ができるようになる。	
環境障害・急性中毒学												
急性中毒学 Acute Toxicology	必修	講義	15	(1)				15			中毒物質による障害について発生機序、病態、症状、予後などを学び、中毒物質が原因となる救急活動において観察、評価、処置及び搬送方法について適切な対応ができるようになる。	
環境障害 Environmental Insults	必修	講義	15	(1)				15			環境因子による障害について発生機序、病態、症状、予後などを学び、環境因子が原因となる救急活動において観察、評価、処置及び搬送方法について適切な対応ができるようになる。	

2025年度 教育課程

救急救命公務員科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	臨地 実習	救急処置実習Ⅰ(基本手技) Emergency Care Practical Training (Basic Skills)	必修	実習	360	(8)	180	180					実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身につけ、実際の救急現場での対応ができるようになる。
		救急処置実習Ⅱ(応用手技) Emergency Care Practical Training (Applied Skills)	必修	実習	360	(8)			180	180			実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身につけ、実際の救急現場での対応ができるようになる。
		救急処置実習Ⅲ(総合手技) Emergency Care Practical Training (Comprehensive Skills)	必修	実習	225	(5)					90	135	実習室内外におけるシミュレーション実習により、即戦力となる知識・技術を身につけ、実際の救急現場での対応ができるようになる。
		救急処置実習Ⅳ(病院内実習) Emergency Care Practical Training (Hospital Clinical Placement)	必修	実習	180	(4)				90	90		実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を学ぶことにより、救急医療機関において、救急救命士として対応することができるようになる。
	総合 医療 救急	総合救急医療 Comprehensive Emergency Medicine	必修	演習	150	(10)						150	救急救命士国家試験に必要な知識を総合的に学び、救急救命士国家試験に必要な合格基準を突破できるようになる。
選択分野	その他	公務員講座(総合・面接) Civil Servant Lecture (General・Interview)	選択	演習	345	(23)					345		公務員試験の教養試験を突破する知識を身につけ、面接試験に必要な書類作成や礼法・作法、口頭試験に対する自己表現ができるようになる。
		総合基礎 Comprehensive Basics	選択	演習	345	(23)					345		救急救命士として必要な基礎的知識を総合的に学び、救急救命士国家試験の基礎的問題を解くことができるようになる。

2025年度 教育課程

理学療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	倫理学 Ethics	必修	講義	30	(2)	30								現代社会の医療分野で生起する生命倫理問題に適切に対処するため、必要不可欠な生命倫理に関する基礎的事項を説明できる。
	心理学 Psychology	必修	講義	30	(2)	30								全人的リハビリ医療を実践するという心を持ち、患者本意の医療者を育成するための医療行動科学の考え方や方法について説明できる。
	物理学 Physics	必修	講義	30	(2)	30								物理学は医療においても重要であるため、人間の運動の科学や各法則など基礎となる力や運動、仕事やエネルギーについて学び説明できる。
	生物学 Biology	必修	講義	30	(2)	30								生物学の基本を学び、今後学ぶ解剖学・生理学等の基礎専門科目を理解するための知識としての基盤を作ることができる。
	情報処理学 I Information Processing I	必修	講義 演習	30	(2)	30								パソコン・インターネット等、ITの基本的な仕組みを理解し、情報収集・解析・発信・コミュニケーションの道具として使うことができる。
	情報処理学 II Information Processing II	必修	講義 演習	30	(2)		30							情報を収集し、データ解析、プレゼンテーションツールを使つての発表まで、今後臨床に必要な知識・技術を説明できる。
	コミュニケーション論 Communication Theory	必修	講義 演習	30	(2)	30								対象者やその家族、職場での人間関係や社会の理解について、基礎となる人間関係に必要な基本的コミュニケーションの知識・技術を学び、実行できる。
	英会話 English Conversation	必修	講義 演習	30	(2)			30						国際教育理念の中で、グローバル化した社会に対応できるよう、また、海外研修のための英会話を学び、日常会話程度の英会話を話すことができる。
医学英語 Medical English	必修	講義	15	(1)			15						医療人として必要な、現場でのカルテ・処方箋などに使われる医療英語、また海外研修に必要な英語を学習し、実行できる。	

2025年度 教育課程

理学療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野 人体の構造と機能及び心身の発達	解剖生理学 I -1 Anatomical Physiology I -1	必修	講義	30	(1)	30								身体各部の形態と機能の相互関係を学び、全体として生命を維持する人体を理解する。細胞・組織・発生学・循環器学の範囲を中心に学び、説明できる。
	解剖生理学 I -2 Anatomical Physiology I -2	必修	講義	30	(1)		30							身体各部の形態と機能の相互関係を学び、全体として生命を維持する人体を理解する。細胞・組織・発生学・循環器学の範囲を中心に学び、説明できる。
	解剖生理学 I -3 Anatomical Physiology I -3	必修	講義	30	(1)			30						身体各部の形態と機能の相互関係を学び、全体として生命を維持する人体を理解する。細胞・組織・発生学・循環器学の範囲を中心に学び、説明できる。
	解剖生理学 II Anatomical Physiology II	必修	講義	30	(1)			30						身体各部の形態と機能の相互関係を学び、全体として生命を維持する人体を理解する。神経系の範囲を中心に学び、説明できる。
	解剖生理学 III Anatomical Physiology III	必修	講義	30	(1)	30								身体各部の形態と機能の相互関係を学び、全体として生命を維持する人体を理解する。血液・免疫・内分泌の範囲を中心に学び、説明できる。
	解剖生理学実習 Anatomical Physiology Practice	必修	実習	30	(1)		30							生命活動の単位である細胞や特定の細胞集団からなる組織を、その機能や人体全体の活動との関係で説明できる。
	運動機能学 I Biomechanics I	必修	講義	30	(1)	30								運動器の基礎である骨・関節・靭帯・筋・神経を相互的に学び、機能としての関係性を学び説明できる。
	運動機能学 II Biomechanics II	必修	講義	30	(1)		30							運動器の基礎である骨・関節・靭帯・筋・神経を相互的に学び、機能としての関係性を学び説明できる。
	機能解剖学 I Functional Anatomy I	必修	講義 演習	30	(1)		30							解剖学をより運動学的に学び、特に上肢・頸部・下肢・体幹の筋機能に関する講義・演習を行い、骨・関節・筋による運動を説明できる。
	機能解剖学 II Functional Anatomy II	必修	講義 演習	30	(1)			30						解剖学をより運動学的に学び、特に上肢・頸部・下肢・体幹の筋機能に関する講義・演習を行い、骨・関節・筋による運動を説明できる。
	運動学 I Kinesiology I	必修	講義	30	(1)	30								人体の運動器の構造と機能、運動力学、さらに身体運動の機構について学び、随意運動のメカニズムを説明できる。
	運動学 II Kinesiology II	必修	講義	30	(1)		30							人体の運動器の構造と機能、運動力学、さらに身体運動の機構について学び、随意運動のメカニズムを説明できる。
	運動学 III Kinesiology III	必修	講義	30	(1)			30						人体の運動器の構造と機能、運動力学、さらに身体運動の機構について学び、随意運動のメカニズムを説明できる。
人間発達学 Human Growth & Development	必修	講義	30	(1)		30							乳・幼児期から老年期まで、各段階における精神的・人格の発達、身体的発達、また発達の障害を説明できる。	

2025年度 教育課程

理学療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	病理学Ⅰ Pathology I	必修	講義	30	(1)		30							疾患の本態を科学的理論に基づき究明することを目的とし、疾患の本態を理解することにより、理論的根拠となる医学的背景を洞察し説明できる。
	病理学Ⅱ Pathology II	必修	講義	30	(1)			30						各疾患における本体構造や生体反応を理解し、その病変の経過や予後について説明できる。
	臨床心理学 Clinical Psychology	必修	講義	30	(1)		30							医療における臨床心理学的な支援の必要性とその背景、ならびに実践を行う際に必要とされる知識・技法について説明できる。
	内科学Ⅰ Internal Medicine I	必修	講義	30	(1)			30						臨床医学の中の内科疾患について、その病態生理から原因・経過・治療・予後に至るまで、医学的知識を学び説明できる。
	内科学Ⅱ Internal Medicine II	必修	講義	30	(1)				30					臨床医学の中の内科疾患について、その病態生理から原因・経過・治療・予後に至るまで、医学的知識を学び説明できる。
	一般臨床医学Ⅰ General Clinical Medicine I	必修	講義	30	(1)				30					救急病態の総論・各論について、また、老年医学の病態や治療方法について学び説明できる。
	一般臨床医学Ⅱ General Clinical Medicine II	必修	講義	30	(1)					30				他の臨床医学の総論として、各分野の疾患の特徴、リハビリテーションに至るまでを説明でき、さらにチーム医療に従事するために、栄養・薬学・BLS・予防学など幅広い観点から理解を深め説明できる。
	整形外科Ⅰ Orthopedics I	必修	講義	30	(1)			30						運動器の障害として、リハビリテーションとの関係は密であり、その総論・各論・画像診断について関係を持たせながら学び説明できる。
	整形外科Ⅱ Orthopedics II	必修	講義	30	(1)				30					運動器の障害として、リハビリテーションとの関係は密であり、その総論・各論・画像診断について関係を持たせながら学び説明できる。
	神経内科学Ⅰ Neuro Internal Medicine I	必修	講義	30	(1)				30					神経疾患の各論からリハビリテーションについてまで、その医学的背景を理解し、評価・画像診断・治療の知識を学び説明できる。
	神経内科学Ⅱ Neuro Internal Medicine II	必修	講義	30	(1)					30				神経疾患の各論からリハビリテーションについてまで、その医学的背景を理解し、評価・画像診断・治療の知識を学び説明できる。
	精神医学 Psychiatry	必修	講義	30	(1)						30			患者の身体機能のみならず、精神状態についても理解できる。またその状況を的確に把握できる能力を身につけ説明できる。
	小児科学 Pediatrics	必修	講義	30	(1)						30			小児特有の病態を理解し、基本的な知識を身につけ、リハビリテーションにおける正確な評価・治療を学び説明できる。
	リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	必修	講義	30	(1)					30				理学療法・作業療法に関わる疾患を理解するとともに、その後の障害の発生・治療の知識・理解を深め説明できる。
リハビリテーションと保健医療福祉との理念	リハビリテーション概論 Introduction to Rehabilitation	必修	講義	30	(1)	30								リハビリテーションの理念と目的を理解し、障害の理解とリハビリテーションの各種アプローチ方法について具体的疾患を通じて、また多職種連携について学び説明できる。
	社会保障制度論 Social Security System Theory	必修	講義	30	(1)			30						保健医療および医療・介護保険制度、社会保障・社会福祉に関する基礎的知識を学び、医療サービスが提供できる能力を修得できる。
	保健科学Ⅰ Health Science I	必修	演習	30	(1)	30								理学療法士として、障害者や高齢者の健康増進のためのレクリエーション等を理解し実施できる。
	保健科学Ⅱ Health Science II	必修	演習	30	(1)		30							機械化・自動化される社会の中、身体活動量が減少することでの影響、また、改善のための解決方法、健康作りの課題や方法を説明できる。

2025年度 教育課程

理学療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎 理学 療法 学	理学療法概論 Introduction to Physical Therapy	必修	講義	30	(1)	30								これからの理学療法士として、また社会(医療)人として素質や人間性を磨き、職業人になるべく理学療法の基礎について学び説明できる。
	病態運動学 I Clinical Kinesiology I	必修	講義 演習	30	(1)					30				臨床に用いられる観察を中心とした運動分析、動作分析を学ぶ。分析の結果から治療への展開について事例やビデオなども利用し、知識・技術を身につけることができる。
	病態運動学 II Clinical Kinesiology II	必修	講義 演習	30	(1)						30			臨床に用いられる観察を中心とした運動分析、動作分析を学ぶ。分析の結果から治療への展開について事例やビデオなども利用し、知識・技術を身につけることができる。
	理学療法関係論 Relational Rehabilitation Theory	必修	講義	45	(2)								45	リハビリテーションの中における作業療法・言語聴覚士の位置づけを理解し、知識・技術を学び説明できる。
	理学療法研究法 Methods of Clinical Research	必修	講義	30	(1)								30	理学療法という専門領域を確立する事は重要である。「研究」の意義について考え、研究計画の立案や研究を進める上で必要となる基礎的知識を学び説明できる。
	理学療法セミナー Physiotherapy Seminar	必修	講義	30	(1)								30	学内での基礎・専門知識を整理し、国家試験対策の模擬試験・解説・再確認を行うためのグループ学習を行い、総合的な知識・技術を身につけることができる。
	理学療法管理学 Physical therapy management science	必修	講義	30	(2)						30			理学療法における職場管理・運営、スタッフ研修、各種記録・報告の意味、各種保険制度について知識を身につけることができる。
	理学療法評価学 I Physiotherapy Evaluation I	必修	講義 演習	60	(2)		60							理学療法評価学における、情報収集からプログラム立案、形態測定、関節可動域など詳しく学習し実施できる。
	理学療法評価学 II Physiotherapy Evaluation II	必修	講義 演習	60	(2)			60						理学療法評価学における、筋力検査、脳神経検査、筋緊張検査等を詳しく学習し実施できる。
	理学療法評価学実習 I Physiotherapy Evaluation Practice I	必修	実習	60	(2)				60					理学療法評価学における、発達分野、協調性、高次脳機能、知覚、電気生理検査を詳しく学習し実施できる。
	理学療法評価学実習 II Physiotherapy Evaluation Practice II	必修	実習	60	(2)					60				理学療法評価学における、反射、整形外科疾患検査、中神経疾患検査、呼吸・循環機能検査を詳しく学習し実施できる。
	理学療法評価演習 Physiotherapy Evaluation Practice	必修	演習	30	(1)						30			臨床実習へ向けて、1~3年生で修得した知識・技術を応用し、また、画像評価を理解し、信頼性・再現性の高い評価を行うことができる。
	運動療法学 Therapeutic Exercise	必修	講義	30	(1)		30							理学療法の大きな柱である運動療法の基礎を総論的に学習する。運動療法の背景となる基礎知識と技術を修得し説明できる。
	運動療法学実習 Therapeutic Exercise Practice	必修	実習	60	(2)			60						理学療法の大きな柱である運動療法の基礎を総論的に学習し、運動療法の基本的実技を修得することができる。
	物理療法学 Electro Physical Agents	必修	講義	30	(1)			30						物理療法の概念を学ぶ。様々な物理的刺激に対する生体反応を理解する。各療法について定義、目的、効果と適応、手技、リスク管理などを中心に説明できる。

専門分野

理学療法
管理学

理学療法
評価学

理学療法
治療学

2025年度 教育課程

理学療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専 門 分 野 理 学 療 法 治 療 学	物理療法学実習 Practice of Electro Physical Agents	必修	実習	30	(1)				30					グループ学習を基本として物理療法の効果を互いに体験し、各種物理療法の特徴を確認しながら実施することができる。
	日常生活活動学 Activity of Daily Living	必修	講義	30	(1)				30					日常生活の基本を学び、各疾患における生活動作を理解する。また、その評価法や生活指導法を説明できる。
	日常生活活動学実習 Activity of Daily Living Practice	必修	実習	30	(1)					30				疾患による生活制限と、その生活様式を学び、実際の体験を通して生活指導や改善法を指導することができる。
	義肢装具学 Prosthesis & Orthosis	必修	講義	30	(1)				30					切断や身体障害について学び、それに必要な義足や装具について、基本的な構造や知識、適応について詳しく説明できる。
	義肢装具学実習 Prosthesis & Orthosis Practice	必修	実習	30	(1)					30				義足・装具の基本的知識を理解し、計測や諸部品の調整、適合や操作方法などを身につけることができる。
	理学療法技術論 I-1 Technology Theory of Physiotherapy I-1	必修	講義 演習	30	(1)						30			整形外科疾患の中の代表的な運動器障害に関する総論的な知識を理解し、修得することができる。
	理学療法技術論 I-2 Technology Theory of Physiotherapy I-2	必修	講義 演習	30	(1)							30		整形外科疾患の中の代表的な運動器障害に関する総論的な知識を理解し、修得することができる。
	理学療法技術論 II-1 Technology Theory of Physiotherapy II-1	必修	講義 演習	30	(1)						30			神経内科系疾患を中心にその成因と回復の実際について学ぶ。代表的な疾患の障害概念を深く理解して理学療法の評価技術及び治療技術を修得することができる。
	理学療法技術論 II-2 Technology Theory of Physiotherapy II-2	必修	講義 演習	30	(1)							30		神経内科系疾患を中心にその成因と回復の実際について学ぶ。代表的な疾患の障害概念を深く理解して理学療法の評価技術及び治療技術を修得することができる。
	理学療法技術論 III-1 Technology Theory of Physiotherapy III-1	必修	講義 演習	30	(1)						30			呼吸器疾患及びがんの基礎医学的知識を踏まえた上で、理学療法の基礎原則とプロセスを学び説明でき、また喀痰等の吸引の知識・技術を修得することができる。
	理学療法技術論 III-2 Technology Theory of Physiotherapy III-2	必修	講義 演習	30	(1)							30		循環器疾患及び代謝障害の基礎医学的知識を踏まえた上で、理学療法の基本原則とプロセスを学び説明できる。
	理学療法技術論 IV Technology Theory of Physiotherapy IV	必修	講義 演習	30	(1)							30		小児の正常発達と発育について、よく見られる疾患を病態生理を中心に、成育医学・小児の諸問題について学び説明できる。
	理学療法技術論 V Technology Theory of Physiotherapy V	必修	講義 演習	30	(1)							30		スポーツ外傷・障害の発生機序を学ぶことで、スポーツ選手、健康増進における理学療法のある方を考える。アスレチックリハビリテーションの知識・技術を学び説明できる。
	理学療法技術論 VI Technology Theory of Physiotherapy VI	必修	講義 演習	30	(1)						30			一般的理学療法の知識と老年学の知識を踏まえ、高齢者の身体的特性を理解し、その理学療法技術について学び説明できる。
	理学療法演習 Physiotherapy Maneuver	必修	演習	30	(1)							30		実習前に臨床における注意点や、態度を学び、学内で学んだ知識・技術の整理をし、実習の内容や臨床での必要事項を学び実習で問われる内容を説明できる。
徒手理学療法学 Empty Hand Physiotherapy	必修	演習	30	(1)						30			人体の各関節の構造を理解し、bone・muscle・soft・tissueに分けて、その治療テクニックを臨床で使用することができる。	

2025年度 教育課程

理学療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	地域理学療法学	必修	講義	30	(1)					30			理学療法士の地域での役割、地域包括ケアシステムを学び、介護予防・生活支援の方法を説明できる。	
		必修	実習	30	(1)						30		理学療法士が関わる地域の分野の中で、実際に直面する状況を的確に判断し、正確な対応ができるような実技を行うことができる。	
		必修	講義 演習	30	(1)			30					地域における障害者福祉・社会福祉協議会など、また介護保険制度において、ケアマネジメントの機能を理解し、理学療法士として地域福祉に貢献するために必要な知識を理解することができる。	
	臨床実習	見学実習	必修	実習	40	(1)			40					コミュニケーション・人間関係・社会の理解をもとに、医療人としての心構え・理学療法業務の内容とその流れを修得することができる。
		臨床評価実習	必修	実習	120	(3)					120			学内で習得した知識・技術を生かし、症例の情報収集から治療プログラム作成までの実習を臨床にて行うことができる。
		臨床実習Ⅰ	必修	実習	320	(8)						320		臨床現場において実習指導者の指導監督の下、評価を行い、治療計画を立案し、理学療法を模倣レベルで行うことができる。
		臨床実習Ⅱ	必修	実習	320	(8)						320		臨床場面で求められる基本的な理学療法が模倣レベルで可能となるとともに、理学療法のプロセスを理解し、論理的に考え、行動することができる。
	選択必修科目	※海外研修	選択	講義 演習	30	(1)				30				異文化に接し、より広い視野でのモノの見方・考え方を捉える「国際的感性」を涵養するとともに、異文化の価値観、文化等の違いを尊重できる基礎的能力を修得することができる。
		※リハビリテーションセミナー	選択	講義 演習	30	(1)			30					海外のリハビリテーション教育の内容や、医療制度の違い、海外で活躍する理学療法士の仕事について説明できる。
		理学療法総合演習Ⅰ	必修	演習	30	(1)		30						その学年に沿った内容の国家試験模試や、それに必要な内容の補習・解説等を修得することができる。
理学療法総合演習Ⅱ		必修	演習	30	(1)			30					その学年に沿った内容の国家試験模試や、それに必要な内容の補習・解説等を修得することができる。	
理学療法総合演習Ⅲ		必修	演習	30	(1)					30			その学年に沿った内容の国家試験模試や、それに必要な内容の補習・解説等を修得することができる。	
理学療法総合演習Ⅳ		必修	演習	30	(1)						30		その学年に沿った内容の国家試験模試や、それに必要な内容の補習・解説等を修得することができる。	
理学療法総合演習Ⅴ		必修	演習	30	(1)							30	その学年に沿った内容の国家試験模試や、それに必要な内容の補習・解説等を修得することができる。	
理学療法総合演習Ⅵ	必修	演習	30	(1)								30	その学年に沿った内容の国家試験模試や、それに必要な内容の補習・解説等を修得することができる。	

※いずれかを選択

2025年度 教育課程

作業療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	心理学 Psychology	必修	講義	30	(2)	30								全人的リハ医療を実践するために、患者本意の医療者を育成するための医療行動科学の考え方と方法について説明できる。
	医学総論 I Medical Introduction I	必修	講義	15	(1)	15								現代社会の医療分野で生起する倫理問題に適切に対処するため、必要不可欠な生命倫理に関する基礎的事項を説明できる。
	医学総論 II Medical Introduction II	必修	講義	15	(1)					15				複雑化する現代社会の中で、心身の健康や活力のために展開されるレクリエーションが実践できる。また、障がい者スポーツの基本を説明でき、障がいに応じたスポーツの支援ができる。
	物理学 Physics	必修	講義	15	(1)	15								物理学は医療においても重要であるため、人間の運動の科学や各法則など、基礎となる力や運動、仕事やエネルギーについて説明できる。
	生物学 Biology	必修	講義	30	(2)	30								解剖学・生理学等の基礎専門科目を学ぶ基盤を作るために、生物学の基本が説明できる。
	情報処理学 I Information Processing I	必修	演習	30	(2)	30								パソコン・インターネット等、ITの基本的な仕組みを理解し、情報収集・解析・発信・コミュニケーションの道具として使うことができる。
	情報処理学 II Information Processing II	必修	演習	15	(1)					15				医療統計に必要な統計理論を理解し、医療現場における情報を収集し、分析ができる。
	人間関係論 I Communication Theory I	必修	講義	15	(1)	15								対象者やその家族・職場での人間関係について、これらの基礎となる人間関係に必要な基本的コミュニケーションができる。
	人間関係論 II Communication Theory II	必修	講義	15	(1)					15				対象者やその家族・職場での人間関係について、多職種連携に必要な応用的コミュニケーションができる。
	国際教育学 I International Education I	必修	講義	30	(2)		30							国際教育理念のもとで、グローバル化した社会に対応できるよう医療機関で求められる英会話ができる。
	国際教育学 II International Education II	必修	講義	15	(1)		15							医療人として必要な現場でのカルテ・処方箋などに使われる医学英語が理解でき、海外研修に必要な英語を使うことができる。
	文章表現 Writing	必修	講義	30	(2)	30								知り得た情報から自分が理解できたことを文章で伝えることができる。自分が考えたこと、その理由づけを文章で書けるようになる。

2025年度 教育課程

作業療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	解剖生理学 I Anatomical Physiology I	必修	講義	30	(2)	30								人体の基本構造・運動器系の範囲を中心に身体各部の形態と機能の相互連関を学び、全体として生命を維持する人体について説明できる。
	解剖生理学 II Anatomical Physiology II	必修	講義	30	(2)	30								血液系・免疫系・内分泌系・循環器系の範囲を中心に身体各部の形態と機能の相互連関を学び、全体として生命を維持する人体について説明できる。
	解剖生理学 III Anatomical Physiology III	必修	講義	30	(2)		30							細胞・組織・発生学・呼吸器系・消化器系・泌尿器系・生殖器系の範囲を中心に身体各部の形態と機能の相互連関を学び、全体として生命を維持する人体について説明できる。
	解剖生理学 IV Anatomical Physiology IV	必修	講義	30	(2)		30							神経系の範囲を中心に身体各部の形態と機能の相互連関を学び、全体として生命を維持する人体について説明できる。
	機能解剖学 I Functional Anatomy I	必修	演習	30	(2)	30								解剖学をより運動学的に学び、特に上肢・頸部・下肢・体幹の筋機能に関する講義・演習を行い、骨・関節・筋による運動について説明できる。
	機能解剖学 II Functional Anatomy II	必修	演習	30	(2)		30							解剖学をより運動学的に学び、特に上肢・頸部・下肢・体幹の筋機能に関する講義・演習を行い、骨・関節・筋による運動について説明できる。
	運動学 I Kinesiology I	必修	演習	30	(2)	30								人体の運動器の基本構造と機能、運動力学、さらに身体運動の機構について説明できる。また、上肢の構造と機能についても説明できる。
	運動学 II Kinesiology II	必修	演習	30	(2)		30							下肢の構造と機能、運動力学、さらに身体運動の機構について学び、随意運動のメカニズムを説明できる。
人間発達学 Human Growth & Development	必修	講義	30	(2)		30							胎児期から老年期まで、各段階における精神的・人格の発達、身体的発達、また発達の障害を説明できる。	

2025年度 教育課程

作業療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学 Pathology	必修	講義	30	(2)		30							疾病に共通する総括的問題の病理学総論について学び、人体の各臓器における特徴的な病態像を理解することにより、疾患・本態を説明できる。
	臨床心理学 Clinical Psychology	必修	演習	30	(2)		30							医療における臨床心理学的な支援の必要性とその背景、ならびに実践を行う際に必要とされる知識・技法について説明できる。
	内科学 Internal Medicine	必修	講義	30	(2)			30						臨床医学の中の内科疾患について、その病態生理から原因・経過・治療・予後に至るまで、医学的知識について説明できる。
	一般臨床医学Ⅰ General Clinical MedicineⅠ	必修	講義	30	(2)			30						救急病態の総論・各論について説明できる。また、老年医学の病態や治療方法について説明できる。
	一般臨床医学Ⅱ General Clinical MedicineⅡ	必修	講義	15	(1)			15						薬物の作用機序や投与方法、体内動態に関する基本的事項を理解した上で、対象疾患に関連した薬物療法の考え方について説明できる。
	一般臨床医学Ⅲ General Clinical MedicineⅢ	必修	講義	30	(2)				30					各分野の疾患について、その基本的病態や特徴について説明できる。また、栄養・代謝障害や画像診断について説明できる。
	整形外科Ⅰ OrthopedicsⅠ	必修	講義	30	(2)			30						運動器の障害とリハビリテーションとの関係は密であり、その総論・各論について説明できる。
	整形外科Ⅱ OrthopedicsⅡ	必修	講義	30	(2)				30					運動器の障害とリハビリテーションとの関係は密であり、その総論・各論について説明できる。
	神経内科学 Neuro Internal Medicine	必修	講義	30	(2)			30						神経疾患の各論からリハビリテーションまで、その医学的背景を理解し、評価・治療について説明できる。
	精神医学 Psychiatry	必修	講義	30	(2)		30							精神障害を引き起こす主な疾患の病因・病態生理・症候・診断について説明できる。
	小児科学 Pediatrics	必修	講義	30	(2)			30						小児特有の病態を理解し、基本的な知識を身につけ、リハビリテーションにおける正確な評価・治療について説明できる。
リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	必修	講義	30	(2)			30						リハビリテーションに関わる疾患を理解するとともに、その後の障害の評価や治療について説明できる。	
リハビリテーションと保健医療福祉との理念	リハビリテーション概論 Introduction to Rehabilitation	必修	講義	30	(2)		30							リハビリテーションの理念と目的を理解し、リハビリテーションに関わる他の専門職の概要や具体的なアプローチ方法等について説明できる。
	社会福祉論 Social Welfare Theory	必修	講義	30	(2)	30								現代社会における社会福祉の基礎から、各分野におけるサービスの理解、多様化する社会福祉問題、今後の課題について説明できる。
	職業関連技術論 Job-related Skill	必修	講義	30	(2)			30						就労支援を中心とした障害者のキャリア支援を理解し、作業療法の流れと役割について説明できる。
	チーム医療論 Team Approach to Health Care	必修	講義	30	(2)				30					リハビリテーションに関わる地域福祉、他職種連携、ケアマネジメントについて、その仕組みと作業療法士の役割を説明できる。

2025年度 教育課程

作業療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎 作業 療法 学	作業療法概論 Introduction to Occupational Therapy	必修	講義	30	(2)	30								作業療法の定義・目的・歴史や作業療法の流れ・役割・各領域の専門性について説明できる。	
	基礎作業学Ⅰ Occupational Therapy SkillsⅠ	必修	講義	30	(2)		30							作業学に関わる基礎知識と作業分析を学び、作業分析をもとにした作業療法の原理が説明できる。	
	基礎作業学Ⅱ Occupational Therapy SkillsⅡ	必修	実技	60	(2)	60								作業療法における様々な作業活動について、基礎的な知識・技術を理解し、作業療法の治療手段について説明できる。	
	基礎作業学Ⅲ Occupational Therapy SkillsⅢ	必修	演習	15	(1)			15						作業療法の治療手段としての様々な作業活動を用いた治療が模擬実践できる。	
	作業療法管理学 Management of Occupational Therapy	必修	講義	30	(2)					30				作業療法の職場管理において、求められる管理業務の基本、臨床教育の基本について説明できる	
	作業 療法 評価 学	作業療法評価学Ⅰ Evaluation MethodⅠ	必修	演習	60	(4)		60							作業療法評価の概念等の基礎知識や観察及び検査測定等それぞれの目的と方法を説明できる。
		作業療法評価学Ⅱ Evaluation MethodⅡ	必修	演習	60	(4)			60						作業療法評価の概念等の基礎知識や観察及び検査測定等の基礎技法を学び、模擬実践できる。
		作業療法評価学Ⅲ Evaluation MethodⅢ	必修	実技	60	(2)				60					作業療法評価学で学んだ基礎知識・技術をもとに、治療の応用について学び、臨床思考過程を説明・模擬実践できる。
	専門 分野	作業 療法 治療 学	身体障害治療学Ⅰ Occupational Therapy for Physically DisabledⅠ	必修	講義	30	(2)				30				脳血管障害などによる身体障害について、基本的な作業療法を説明できる。
			身体障害治療学Ⅱ Occupational Therapy for Physically DisabledⅡ	必修	講義	30	(2)				30				身体障害に対する作業療法の評価学、治療学で学習した知識・技術を臨床実践へつなげていくための基本的な作業療法について模擬実践できる。
身体障害治療学Ⅲ Occupational Therapy for Physically DisabledⅢ			必修	演習	30	(2)					30			作業療法治療学および作業療法評価学で学んだ身体障害領域の知識・技術を模擬実践できる。	
精神障害治療学Ⅰ Occupational Therapy for Mentally DisabledⅠ			必修	講義	30	(2)			30					精神障害作業療法の歴史・概念を理解し、精神科領域における基本的な評価や治療の考え方を説明できる。	
精神障害治療学Ⅱ Occupational Therapy for Mentally DisabledⅡ			必修	講義	60	(4)				60				精神科領域において各疾患の特性・障害について学び、それに応じた作業療法が模擬実践できる。	
精神障害治療学Ⅲ Occupational Therapy for Mentally DisabledⅢ			必修	演習	30	(2)					30			精神科領域における作業療法評価・治療技法や記録報告などを体験的に学習し、基本的な作業療法を模擬実践できる。	
発達障害治療学Ⅰ Occupational Therapy for Developmental DisabilityⅠ			必修	講義	30	(2)				30				発達障害の領域における代表的疾患に対する基本的な作業療法の評価や治療について説明できる。	
発達障害治療学Ⅱ Occupational Therapy for Developmental DisabilityⅡ			必修	演習	60	(4)					60				発達障害領域における代表的疾患に対する基本的な作業療法が模擬実践できる。
老年期障害治療学Ⅰ Occupational Therapy for Elderly DisabledⅠ			必修	講義	30	(2)				30					老年期の各障害に対する作業療法の評価学、治療学で学習した知識・技術を臨床実践へつなげていくための基本的な作業療法について模擬実践できる。
老年期障害治療学Ⅱ Occupational Therapy for Elderly DisabledⅡ	必修	講義	30	(2)					30				高齢期の加齢に伴う身体及び精神機能面における変化と、高齢期障害に対する基本的な作業療法について説明できる。		

2025年度 教育課程

作業療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	作業療法治療学	日常生活活動学 I Activity of Daily Living I	必修	講義	60	(4)			60					日常生活活動の概念について理解し、代表的なADL評価を学び、日常生活活動に対する基本的な活動・動作について説明できる。
		日常生活活動学 II Activity of Daily Living II	必修	演習	60	(4)			60					日常生活活動に対する基本的な作業療法について模擬実践できる。また、住環境整備と支援機器に関わる基本的な作業療法について模擬実践できる。
		高次脳機能障害治療学 I Occupational Therapy for Cognitive Dysfunction I	必修	講義	30	(2)			30					高次脳機能障害の一般的な分類と各状態像を知り、各障害に対応した代表的な検査項目、評価法や高次脳機能障害に対する作業療法の役割について説明ができる。
		高次脳機能障害治療学 II Occupational Therapy for Cognitive Dysfunction II	必修	講義	30	(2)				30				高次脳機能の各障害ごとの臨床像・生活上の問題を把握し、その評価とリハアプローチができる。
		義肢装具学 Prosthetics and Orthotics	必修	講義	30	(2)					30			義肢装具に関わる基本的な作業療法について説明できる。また、スプリントの作成ができる。
	地域作業療法学	地域作業療法学 I Occupational Therapy for Community I	必修	講義	30	(2)			30					地域における基本的な作業療法について説明できる。
		地域作業療法学 II Occupational Therapy for Community II	必修	演習	30	(2)			30					地域福祉の概念・思想・実践方法について総括的に説明できる。実際の現場において地域医療における作業療法士に求められる役割や地域包括ケアシステムについて説明できる。
	臨床実習	臨床見学実習 Educational Tour at Clinical Facilities	必修	実習	40	(1)			40					臨床場面において、対象者との接し方や他のスタッフとの関わりができる。
		臨床評価実習 Clinical Evaluation Practice	必修	実習	200	(5)					200			臨床場面において、対象者について評価を行い、プログラム立案ができる。
		臨床実習 I Occupational Therapy Fieldwork I	必修	実習	400	(10)					400			各疾病・各年齢層の対象者について評価・問題点の抽出～再評価までの流れを把握し、実習教育者の下で作業療法を実践できる。
		臨床実習 II Occupational Therapy Fieldwork II	必修	実習	400	(10)						400		各疾病・各年齢層の対象者について評価・問題点の抽出～再評価までの流れを把握し、実習教育者の下で作業療法を実践できる。

2025年度 教育課程

作業療法科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
選 択 ・ 必 修 分 野	作業療法特論Ⅰ Advanced Occupational TherapyⅠ	必修	演習	15	(1)	15								最近の情勢の変化を説明でき、先進的な学習・演習を行う能力を身につけ、実践的な能力を修得し、業界で即戦力になれるようになる。
	作業療法特論Ⅱ Advanced Occupational TherapyⅡ	必修	演習	15	(1)		15							最近の情勢の変化を説明でき、先進的な学習・演習を行う能力を身につけ、実践的な能力を修得し、業界で即戦力になれるようになる。
	作業療法特論Ⅲ Advanced Occupational TherapyⅢ	必修	演習	15	(1)			15						最近の情勢の変化を説明でき、先進的な学習・演習を行う能力を身につけ、実践的な能力を修得し、業界で即戦力になれるようになる。
	作業療法特論Ⅳ Advanced Occupational TherapyⅣ	必修	演習	15	(1)				15					最近の情勢の変化を説明でき、先進的な学習・演習を行う能力を身につけ、実践的な能力を修得し、業界で即戦力になれるようになる。
	作業療法特論Ⅴ Advanced Occupational TherapyⅤ	必修	演習	15	(1)					15				最近の情勢の変化を説明でき、先進的な学習・演習を行う能力を身につけ、実践的な能力を修得し、業界で即戦力になれるようになる。
	作業療法総合演習Ⅰ Occupational Therapy Integrated PracticeⅠ	必修	演習	60	(4)								60	目標を達成するための集団学習を行い、課題に挑戦し、医療現場で求められるチームワークを実践でき、作業療法士に必要な知識を総合的に説明できる。
	作業療法総合演習Ⅱ Occupational Therapy Integrated PracticeⅡ	必修	演習	60	(4)								60	目標を達成するための集団学習を行い、課題に挑戦し、医療現場で求められるチームワークを実践でき、作業療法士に必要な知識を総合的に説明できる。
	作業療法総合演習Ⅲ Occupational Therapy Integrated PracticeⅢ	必修	演習	60	(4)								60	目標を達成するための集団学習を行い、課題に挑戦し、医療現場で求められるチームワークを実践でき、作業療法士に必要な知識を総合的に説明できる。
	作業療法総合演習Ⅳ Occupational Therapy Integrated PracticeⅣ	必修	演習	60	(4)								60	目標を達成するための集団学習を行い、課題に挑戦し、医療現場で求められるチームワークを実践でき、作業療法士に必要な知識を総合的に説明できる。
	作業療法総合演習Ⅴ Occupational Therapy Integrated PracticeⅤ	必修	演習	60	(4)								60	目標を達成するための集団学習を行い、課題に挑戦し、医療現場で求められるチームワークを実践でき、作業療法士に必要な知識を総合的に説明できる。
	作業療法総合演習Ⅵ Occupational Therapy Integrated PracticeⅥ	必修	演習	60	(4)								60	目標を達成するための集団学習を行い、課題に挑戦し、医療現場で求められるチームワークを実践でき、作業療法士に必要な知識を総合的に説明できる。
	作業療法総合演習Ⅶ Occupational Therapy Integrated PracticeⅦ	必修	演習	60	(4)								60	目標を達成するための集団学習を行い、課題に挑戦し、医療現場で求められるチームワークを実践でき、作業療法士に必要な知識を総合的に説明できる。
	※海外実学研修 Overseas Fieldwork	選択	演習	15	(1)				15					実際に海外施設の見学や体験を通して、海外の医療制度やリハビリテーション専門教育の違い、さらにはリハビリテーションの実際について説明できる。
※国際リハビリテーションセミナー International Rehabilitation seminar	選択	演習	15	(1)				15					海外の医療制度やリハビリテーション専門教育の違い、さらにはリハビリテーションの実際について説明できる。	

※いずれかを選択

2025年度 教育課程

歯科衛生士科

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的 思想の 基盤	生物 Biology	必修	講義	30	(2)	30						人間を中心においた生命の仕組みを探求し、生物学の基礎を学び、解剖・生理学に結び付けることができる。
		化学 Chemistry	必修	講義	15	(1)	15						歯科臨床で用いられる物質の化学的背景を理解し、生化学・栄養指導に結び付けて考えることができる。
	人間と 社会生 活の理 解	英語 English	必修	講義	30	(2)		30					グローバルな感性を養い、コミュニケーションに必要な英会話を学び、実践し、歯科に関する英単語を理解することができる。
		コミュニケーション論 (CSU検定) Communication Skill	必修	講義 演習	30	(2)	30						相手の話を聴く姿勢やその内容を理解する能力を高め、医療人として必要なコミュニケーションを修得し、実践できる。
		臨床心理学 Clinical Psychology	必修	講義	30	(2)			30				「こころ」と「からだ」と「社会」の枠組みの中で、身体的な病気と心身の病における心理・社会・生物学的要因の相互作用について理解することができる。
		医療倫理 Medical Ethics	必修	講義 演習	30	(2)	30						医の倫理を学ぶと共に職業人としての心構えやインフォームドコンセントに基づいた患者対応などを理解することができる。
専門基礎分野	人体の 構造と 機能	解剖学 Anatomy	必修	講義	30	(2)	30						人体の構造ならびに組織発生についての知識を修得し、生理学との関連性を理解することができる。
		生理学 Physiology	必修	講義	30	(2)	30						人体の生理の概要についての知識を修得し、解剖学との関連性を理解することができる。
		生化学 Biochemistry	必修	講義	15	(1)		15					生化学を通して栄養指導の知識を修得し、関連付けて理解することができる。
	歯・口 腔の機 能と構 造	口腔解剖学 (組織発生学含む) Oral Anatomy	必修	講義	30	(2)		30					口腔の構造ならびに歯の形態と組織およびその周囲組織についての知識を修得することができる。
		口腔生理学 Oral Physiology	必修	講義	15	(1)		15					口腔についての生理の知識を修得し、口腔解剖と関連付けて理解することができる。
		口腔生化学 Oral Biochemistry	必修	講義	15	(1)		15					生化学を通して栄養指導の知識を修得し、関連付けて理解することができる。
	疾病の 成り立 ち及び 回復過 程の促 進	病理学・口腔病理学 Pathology	必修	講義	60	(4)	30	30					全身および口腔領域の疾患を含め病因論についての知識を理解することができる。
		薬理学・歯科薬理学 Pharmacology	必修	講義	30	(2)	30						医学の基礎的知識を活かし、薬物の効力発現を理論的に理解することができる。
		微生物学・口腔微生物学 Microbiology	必修	講義	30	(2)	30						細菌・真菌・ウイルスなどの微生物、それによって引き起こされる歯科領域の疾患について理解することができる。
	歯・口 腔の健 康と予 防に関 わる	口腔衛生学Ⅰ Oral HygieneⅠ	必修	講義	60	(4)	30	30					歯と口腔の疾患異常の予防および保健指導の知識を理解することができる。
		口腔衛生学Ⅱ (衛生統計学含) Oral HygieneⅡ	必修	講義 演習	15	(1)			15				歯と口腔の疾患異常の予防および保健指導の知識、口腔領域の統計学を理解することができる。
		衛生学・公衆衛生学 Hygiene・Public Health	必修	講義	30	(2)		30					国民の歯科保健の向上を目指し、衛生・公衆衛生を学び歯科領域の疫学を理解することができる。
		衛生行政・社会福祉学 Public Administration・ Public Welfare	必修	講義	30	(2)				30			法制・行政・社会保障を学び、歯科保健医療の普及と向上のために必要な知識を備えることができる。

2025年度 教育課程

歯科衛生士科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	歯科衛生士概論 Dental Hygienist Theory	必修	講義	30	(2)	30						歯科衛生士としての人間性を培い、歯科衛生士の業務を理解することができる。
	歯科臨床概論 Clinical Theory of Dentistry	必修	講義	15	(1)	15						医療と診療の意味を理解し、さらに歯科臨床について学び、歯科診療の流れを理解することができる。
	歯科保存学 (修復学・歯内療法学・ 歯周治療学含む) Conservative Dentistry	必修	講義 演習	60	(4)		30	30				歯科疾患の基礎的知識、保存修復・歯内療法・歯周治療の概要についての知識と歯科衛生士の役割を修得し、主要3科と関連付けることができる。
	歯科補綴学 Prosthodontics	必修	講義	30	(2)			30				現有歯の実質欠損・喪失歯による形態および機能回復について理解し、歯科衛生士の役割を修得し、実践することができる。
	口腔外科学 Oral Surgery	必修	講義	30	(2)			30				歯科疾患の概要と診療における歯科衛生士の役割・実技を修得し、実践することができる。
	小児歯科学 Pedodontics	必修	講義	30	(2)			30				身体的・精神的・社会的発達途上にある小児の特徴を理解し、チーム診療と歯科衛生士の役割について知識と技術を修得し、実践することができる。
	矯正歯科学 Orthodontics	必修	講義 演習	30	(2)			30				歯科矯正治療に対応する知識と補助技術、歯科衛生士としての役割を修得し、実践することができる。
	高齢者歯科学・障害者歯科学 Geriatric Dentistry・ Handicapped Dentistry	必修	講義	30	(2)			30				障害の程度に適応した患者の取り扱い方、在宅訪問指導をふまえた高齢者歯科治療の特徴、歯科衛生士の業務を理解し、実践することができる。
	救急蘇生、偶発事故予防・対策 First Aid for Revival/ Prevention of Accident	必修	講義 演習	30	(2)			30				救急蘇生の手順を学び、歯科医院などの医療現場で起こりうる偶発事故についての予防と対策について理解することができる。
	歯科予防処置論Ⅰ Disposition of Dental Prevention I	必修	講義 演習	90	(6)	30	60					う蝕・歯周疾患の成り立ちを学び知識を身につける。また、う蝕予防・歯周疾患の予防法についての知識と技術を修得する。
	歯科予防処置論Ⅱ Disposition of Dental Prevention II	必修	講義 演習	60	(4)			60				臨床実習に向け、臨床に即した施術の流れを修得する。繰り返しの実習により知識技術を定着し、実践することができる。
	歯科保健指導論Ⅰ Guidance of Dental Health I	必修	講義 演習	60	(4)	30	30					口腔保健の意義の理解と他者への理解を体験する実習、自己のモチベーションスキルの向上を計り、実践することができる。
	歯科保健指導論Ⅱ Guidance of Dental Health II	必修	講義 演習	30	(2)			30				実習・実践を増やし、臨床に沿ったスキルを身につけ、1年生を患者に見立ててのTBI実習で実践することができる。
	歯科保健指導論Ⅲ Guidance of Dental Health III	必修	講義 演習	15	(1)				15			歯周病と全身疾患の関連性を理解することができる。
	口腔ケア(歯科内科学) Oral Hygiene and Internal Medicine	必修	講義	15	(1)				15			内科疾患を学び口腔内所見を把握する。その疾患の特性を知ることによって口腔ケアの対処方法を学び、臨床実習において実践することができる。
	栄養指導 Nutrition Education	必修	講義	30	(2)			30				栄養学の基礎知識と栄養指導および食生活指導について修得し、患者指導に役立てることができる。
	地域保健活動 Activity of Regional Health	必修	講義	15	(1)			15				地域で展開される組織活動を理解し、地域保健活動に寄与するための歯科保健活動の役割を理解することができる。

2025年度 教育課程

歯科衛生士科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	歯科診療補助論Ⅰ Theory of Dental Assist I	必修	講義 演習	90	(6)	30	60					歯科治療における診療の補助・受付業務などの機能を理解し、歯科衛生士業務に必要な技術態度を養う。診療室の器具器材・知識と取り扱いを修得し実践することができる。	
	歯科診療補助論Ⅱ Theory of Dental Assist II	必修	講義 演習	60	(4)			60				九大病院臨床実習に向け臨床に即した施術の流れを修得する。臨床実習を同時進行することで、臨床に沿ったスキルを身につけることができる。	
	歯科放射線学 Dental Radiology	必修	講義 演習	30	(2)		15	15				歯科衛生士の業務範囲を認識し、患者指導に役立てられるように理解し、臨床医学との関連性を理解することができる。	
	臨床検査 Council for Laboratory Testing	必修	講義	15	(1)			15				病態と臨床検査データを理解し、その知識を学び臨床データと関連付けることができる。	
	感染予防 Prevention of Infection	必修	講義	15	(1)			15				感染予防対策として滅菌と消毒について理論と実際を修得し、臨床で実践することができる。	
	歯科材料学 Dental-goods Learning	必修	講義	30	(2)		30					歯科材料の特性を学び実際の取り扱い方を修得し、臨床で実践することができる。	
	診療報酬請求事務 Medical Processor Basic	必修	講義 演習	30	(2)				30			診療報酬請求事務の基礎知識をもとに歯科医院で実際に必要となる技能を学び、臨床現場で応用することができる。	
	実習指導Ⅰ Practice Guidance I	必修	演習	120	(8)			60	60				2年次の臨床・臨床実習に際し、実習内容を理解し、必要に応じた準備をすることができる。
	実習指導Ⅱ Practice Guidance II	必修	演習	150	(10)					120	30		3年次の臨床・臨床実習に際し、実習内容を理解し、必要に応じた準備をすることができる。
	臨床・臨床実習Ⅰ Clinical Practice I	必修	実習	540	(12)			270	270				2年次の臨床・臨床実習において修得した知識技術を現場で実践することができる。
	臨床・臨床実習Ⅱ Clinical Practice II	必修	実習	450	(10)					270	180		3年次の臨床・臨床実習において修得した知識技術を現場で実践することができる。
	コンピュータ実習 Computer Practice	必修	演習	30	(2)			30					基本的なコンピュータの取り扱い。Word・Excel・Power Pointを修得し、実践することができる。
	フィニッシング Finishing	必修	講義 演習	15	(1)		15						社会人として必要な基本的マナーを修得し、実践することができる。
	メイク Make-up	選択	講義 演習	15	(1)		15						医療従事者の身だしなみとしてのメイクを修得し、実践することができる。
審美歯科 Aesthetic Dentistry	必修	講義 演習	15	(1)				15				審美歯科で行われる様々な治療についての知識・診療内容を理解し、説明することができる。	
インプラントアシスト Implant Assist	必修	講義	15	(1)				15				歯科領域における欠損補綴のインプラントについて知識と技術を理解し、外科的処置を行う歯科診療補助の知識を修得し、実践することができる。	
摂食嚥下機能訓練 Training of Eating and Swallowing	必修	講義 演習	30	(2)					30			摂食嚥下のメカニズム・原因・診察・対応・口腔ケアとの関連などの知識を学び、臨床実習で役立てることができる。	
国家試験対策講座 National Examination Versus	必修	講義 演習	225	(15)						225		国家試験に必要な知識を総合的・応用的に理解し、歯科衛生士国家試験に合格することができる。	

選択必修

2025年度 教育課程

看護科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎分野	科学的思考の基礎	論理的思考 Medical Logic	必修	講義 演習	15	(1)	15						看護学生生活における学びを充実させる学習の基本的スキルを修得できる。また積極的に学習活動に参加し、グループメンバーとの交流を通して、学習の基盤づくりを行うことができる。	
		統計学 Medical Statistics	必修	講義 演習	30	(2)	30						医療・看護の科学的裏付けを明らかにするため、表計算ソフトの各種関数と統計処理の基礎を理解し、データ処理操作の実践および看護情報に関連したパソコン操作法を修得できる。	
		教育学 Education Studies	必修	講義	15	(1)		15					人間の可能性を引き出すための教育の意義・方法を理解し、生涯教育や看護活動に役立つ基礎を修得できる。	
		行動科学 Behavioral Science	必修	講義	15	(1)	15						病院から在宅療養へ、また延命医療からウェルネスや尊厳を重視したホスピス医療へなど、一連の医療システムが変化する新たな時代の中で、科学という知識とそれにより得た技術体系をどのように生かすのかを考えることができる。	
	人間と生活・社会の理解	倫理学 Ethics	必修	講義	15	(1)	15						人間の行為について学び、他人の問題ではなく、自分の問題として倫理を捉えることができる。	
		情報科学 Information Science	必修	講義	30	(2)		30					現代社会における情報システムの問題点の認識とそれへの対応、メディアリテラシーとITリテラシー、個人情報の管理や守秘義務など基本的概念を理解し、看護師として必要な情報処理技術をWord・Excel・PowerPointを使い、看護業務に役立つ知識と技術を次得例を踏まえて修得することができる。	
		人間関係論 Human Relations	必修	講義 演習	15	(1)	15						人間を人との関係で成長する存在と捉え、人間関係を円滑に保つ必要性和その方法について理解できる。	
		家族論 Sociology of the Family	必修	講義 演習	15	(1)		15					個々の人間にとって家族とは何か、社会にとって家族とは何かを理解し、家族・社会の特徴と課題を説明できる。	
		文化人類学 Cultural Anthropology	必修	講義	15	(1)		15					自分の住む社会の文化を理解するとともに、世界の人々の様々な文化・生活・価値観を学び幅広い視野で人間を捉えることができる。	
		社会学 Sociology	必修	講義	15	(1)		15					社会構造や人間と社会の関係とその相互作用を学び、人間の環境としての社会を理解できる。	
		英語 English	必修	講義	30	(2)	30						英語によるコミュニケーション能力を高め、看護に必要な英会話の基本を修得できる。	
	専門基礎分野	人体の構造と機能	形態機能学Ⅰ Functional MorphologyⅠ	必修	講義	30	(1)	30						実践の科学である看護学の土台となる、人体の構造と機能について、基礎基本を修得できる。
			形態機能学Ⅱ Functional MorphologyⅡ	必修	講義	30	(1)	30						実践の科学である看護学の土台となる、人体の構造と機能について、基礎基本を修得できる。
形態機能学Ⅲ Functional MorphologyⅢ			必修	講義	30	(1)	30						実践の科学である看護学の土台となる、人体の構造と機能について、基礎基本を修得できる。	
形態機能学Ⅳ Functional MorphologyⅣ			必修	講義	30	(1)	30						実践の科学である看護学の土台となる、人体の構造と機能について、基礎基本を修得できる。	
生化学 Biochemistry			必修	講義	30	(1)		30					人体の構成成分である化合物の生成と代謝について理解できる。	
臨床検査 Clinical examination			必修	講義	30	(2)			30				検査データと人間の身体の異常はどのように関連しているのかを学び、看護ケアの実践に役立てることができる。	

2025年度 教育課程

看護科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	看護学概論 Introduction to Nursing	必修	講義 演習	30	(1)						30	看護の本質を学び、看護の概念を理解することで、看護観を育み深めることができる。
	フィジカルアセスメント Physical Assessment	必修	講義 演習	30	(1)	30						情報収集・アセスメントと実践という情報をどのように解釈し、判断していくかの思考過程を十分に活用し、考えて動く力を身につけることができる。
	コミュニケーションスキル Communication Skills	必修	講義 演習	15	(1)	15						コミュニケーションの本質を学び、人格の形成及び人間関係の構築について理解し、実践できるようになることを目指す。さらに授業内でグループ分けやゲームを通じて、他者との円滑なコミュニケーションを実践することができる。
	臨床看護総論 General Clinical Nursing	必修	講義	15	(1)		15					「基礎看護技術」で修得した内容を、臨床の場で出会うことの多い事例を通して具体的に学習し、臨床に適用できるように知識と技術の統合を図る。更に看護の実践者として様々な対象に応じた看護を総合的に考えることができる。
	看護研究 Nursing Research	必修	演習	30	(1)						30	看護専門職者として、看護における研究に意義と必要性を理解する。また、基本的知識を基に、看護を多角的視点から深く考察し、質の高い看護を追究する能力を修得できる。
	看護行為に共通する技術Ⅰ Clinical Nursing SkillsⅠ	必修	講義 演習	30	(1)	30						看護実践における技術の意味を理解し、看護活動の基礎となる共通基本技術を修得できる。
	看護行為に共通する技術Ⅱ Clinical Nursing SkillsⅡ	必修	講義 演習	30	(1)	30						看護実践における技術の意味を理解し、看護活動の基礎となる共通基本技術を修得できる。
	看護行為に共通する技術Ⅲ Clinical Nursing SkillsⅢ	必修	講義 演習	30	(1)			30				理論家による看護理論から看護の独自性と看護の対象となる人の捉え方を学び、事故の看護観を体系的に考えることができる。マズロー、ゴードン、ヘンダーソンらの基本的・代表的なアセスメント理論を抑えたいうえて、事例を通して統合的なアセスメントを修得できる。
	健康的な生活への 援助技術Ⅰ Patient Care PlanⅠ	必修	講義 演習	30	(1)	30						日常生活において看護を必要とする人のニーズを把握し、その人に合わせた援助技術を修得できる。
	健康的な生活への 援助技術Ⅱ Patient Care PlanⅡ	必修	講義 演習	30	(1)		30					日常生活において看護を必要とする人のニーズを把握し、その人に合わせた援助技術を修得できる。
	健康的な生活への 援助技術Ⅲ Patient Care PlanⅢ	必修	講義 演習	30	(1)		30					日常生活において看護を必要とする人のニーズを把握し、その人に合わせた援助技術を修得できる。
	生命活動を支える 援助技術 ADL Assistance	必修	講義 演習	30	(1)			30				治療の意義・目的および看護の役割を理解し、診断・治療を受ける人への援助技術を修得できる。
	地域と暮らし Lifestyle issue in the local community	必修	講義 演習	15	(1)	15						地域診断的視点から「地域の中の療養者」に対する看護について修得できる。
	暮らしを支える看護 Nursing Support for Patient Lifestyles	必修	講義 演習	15	(1)		15					人々の様々な生活様式やライフステージの段階に対応した看護について自ら考える力を修得できる。
	在宅看護概論 Introduction to Community Nursing	必修	講義	15	(1)			15				在宅看護の意義と必要性及び概要を理解できる。
	在宅看護方法論Ⅰ Community Nursing MethodologyⅠ	必修	講義	15	(1)			15				療養者のための社会資源の活用や看護の手無きについて、地域包括ケアシステムの視点からこれからの時代に求められる看護を修得できる。
	在宅看護方法論Ⅱ Community Nursing MethodologyⅡ	必修	講義 演習	30	(1)			30				訪問看護における具体的な感染予防対策、災害などの健康危機に際し、在宅療養を支えるための対応や取り組みについて修得できる。
	在宅看護方法論Ⅲ Community Nursing MethodologyⅢ	必修	講義 演習	30	(1)				30			各病期の訪問看護の事例を通し、在宅で療養するあらゆる健康レベル、発達段階の人とその家族への実践的な知識を修得できる。

2025年度 教育課程

看護科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	成人看護学	成人看護学概論 Introduction to General Nursing	必修	講義	15	(1)			15			「成人とは何か」を明確にし、看護の対象としての成人を理解することができる。
		成人看護学方法論Ⅰ General Nursing MethodologyⅠ	必修	講義 演習	30	(1)			30			各疾患の病態・検査・治療方法に基づいて、周手術期の看護の根拠をイメージして学習する。患者の変化をたどりながら、ポイントを押さえて術後の看護を修得できる。
		成人看護学方法論Ⅱ General Nursing MethodologyⅡ	必修	講義 演習	30	(1)			30			リハビリテーション関連職種によるチームアプローチの手法や、ニーズの高まる地域医療連携について考察する。障害をアセスメントしてリハビリテーション看護を実践できる応用力を培うことができる。
		成人看護学方法論Ⅲ General Nursing MethodologyⅢ	必修	講義 演習	30	(1)			30			慢性病を抱えた人が依存ではなく、自立した存在としてセルフマネジメントしていくための支援方法を修得できる。
		成人看護学方法論Ⅳ General Nursing MethodologyⅣ	必修	講義 演習	30	(1)			30			がん患者だけでなく生命を脅かす疾患を抱えたすべての人の緩和ケアについて学び、個別性の高い緩和ケアをより具体的に考える。生命倫理について再考することができる。
		成人看護学方法論Ⅴ General Nursing MethodologyⅤ	必修	講義 演習	30	(1)			30			急激な健康破綻にある人々を援助する能力を身につける。自身の健康をセルフケアすることが困難な危機的状況で、個々の「健康観」と「健康観」に沿った看護を理解できる。
	老年看護学	老年看護学概論 Introduction to Geriatric Nursing	必修	講義 演習	15	(1)			15			高齢者の身体的・心理精神的・社会的特徴が理解できる。高齢者の加齢変化と疾患や生活機能変化について理解し、それが生活のどのように影響しているのかを理解できる。
		老年看護学方法論Ⅰ Geriatric Nursing MethodologyⅠ	必修	講義	15	(1)			15			高齢者の生活史を社会変化との関連で理解できる。高齢者の健康づくりについて理解できる。
		老年看護学方法論Ⅱ Geriatric Nursing MethodologyⅡ	必修	講義 演習	30	(1)			30			加齢に伴う特徴を理解するとともに、健康障害を示す病態、症状や兆候、経過、治療法などを学び、高齢者及びその家族を対象とした看護援助の方法並びに援助技術について看護過程を展開しながら修得できる。
		老年看護学方法論Ⅲ Geriatric Nursing MethodologyⅢ	必修	講義 演習	30	(1)				30		様々な健康レベルにある高齢者について理解を深め、効果的な看護を展開するための知識・技術・態度を修得し、実践へと繋げることができる。
	小児看護学	小児看護学概論 Introduction to Pediatric Nursing	必修	講義	15	(1)			15			小児看護の理念、歴史と意義、子どもの権利について学び、子どもの権利を擁護する小児看護の在り方について考察することにより、子どもを主体とした小児看護を修得できる。
		小児看護学方法論Ⅰ Pediatric Nursing MethodologyⅠ	必修	講義	15	(1)			15			子どもの健康問題や子どもを取り巻く社会・医療の現状と課題、子どもの法律・施策について学び、小児看護の持つ課題について考察することにより、今後の小児看護を創造することができる。
小児看護学方法論Ⅱ Pediatric Nursing MethodologyⅡ		必修	講義 演習	30	(1)			30			一人ひとりの子どもの権利を擁護し、子どもに安全で安楽なケアを提供するために、科学的な根拠に基づいた看護実践能力を修得できる。	
小児看護学方法論Ⅲ Pediatric Nursing MethodologyⅢ		必修	講義 演習	30	(1)				30		小児に多い失火の予備小児各期特有の疾患の病態、診断、治療、予後、看護について系統別に学習し、臨床実習に応用できる。	

2025年度 教育課程

看護科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	母性看護学	母性看護学概論 Introduction to Maternity Nursing	必修	講義 演習	15	(1)			15				母性看護の基盤となる概念を理解し、母性看護の対象、母性看護実践を支える概念を修得できる。
		母性看護学方法論Ⅰ Maternity Nursing MethodologyⅠ	必修	講義	15	(1)			15				リプロダクティブヘルスの基礎(概念、生理、倫理、法・制度)、女性における健康課題を学ぶ。また、思春期における課題を理解できる。
		母性看護学方法論Ⅱ Maternity Nursing MethodologyⅡ	必修	講義 演習	30	(1)			30				エビデンスに基づく母性看護の基礎技術を修得できる。
		母性看護学方法論Ⅲ Maternity Nursing MethodologyⅢ	必修	講義	30	(1)				30			女性特有の疾患および周産期の異常経過にある女性の看護について、身体的特性と心理・社会的特性、アセスメントおよび看護について修得できる。
	精神看護学	精神看護学概論 Introduction to Mental Health Nursing	必修	講義 演習	15	(1)			15				看護の概要、精神看護の対象となる人の心について理解し、健康のレベルと障害の関連や精神の不健康状態について理解できる。
		精神看護学方法論Ⅰ Mental Health Nursing MethodologyⅠ	必修	講義 演習	15	(1)			15				地域における精神保健活動や、リハビリ、レジリエンスの概念から、その支援に有効なストレングスモデルについて理解できる。
		精神看護学方法論Ⅱ Mental Health Nursing MethodologyⅡ	必修	講義 演習	30	(1)				30			精神障害のある患者との治療的関係の成立が理解できる。
		精神看護学方法論Ⅲ Mental Health Nursing MethodologyⅢ	必修	講義 演習	30	(1)				30			精神障害者の人権を守り、地域生活を支えていくための施策を理解できる。
	看護の統合と実践	看護管理 Nursing Management	必修	講義	15	(1)						15	看護管理は管理者だけの概念ではない、個々のスタッフがそれぞれの立場で様々な状況に対応する際によって立つ基盤となるものである。日々、管理的な視点をもって勤務する看護職に育つために必要な基礎的知識を修得できる。
		災害・国際看護 Disaster and International Nursing	必修	講義	30	(1)						30	災害や災害医療に関する基本的な知識を、実践的に学ぶ。国際看護活動に関心を持ち、国際的活動における看護師の役割について理解できる。
		医療安全 Workplace Health and Safety	必修	講義 演習	30	(1)						30	セーフティマネジメントについて基礎的能力を修得できる。
		専門職連携学習 Case Studies in interprofessional work	必修	講義 演習	15	(1)						15	多職種での役割・機能の理解を深め、職種連携における看護師の役割について理解できる。
		看護の統合演習Ⅰ Final PracticalⅠ	必修	講義 演習	30	(1)						30	既習の知識・技術を統合し、対象の状態に応じた看護を実践する能力を修得できる。
		看護の統合演習Ⅱ Final PracticalⅡ	必修	講義 演習	15	(1)						15	3年間で培った知識と技術を統合し、看護師としての第一歩とすることができる。

2025年度 教育課程

看護科

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	臨床実習	基礎看護学実習 I Basic Nursing Practical I	必修	実習	45	(1)	15	30					看護学の基本で学んだ知識・技術・態度に基づいて、看護の対象となる人を取りまく環境と看護の役割を理解し、対象となる人にあわせた日常生活を援助する能力を修得できる。
		基礎看護学実習 II Basic Nursing Practical II	必修	実習	90	(2)		90					看護の対象となる人を総合的に理解し、科学的根拠に基づいた日常生活行動援助の基本的能力を修得できる。
		地域・在宅看護論実習 I Community Nursing Practical I	必修	実習	30	(1)	30						地域で生活する人びとの健康やQOLの向上をめざした地域看護における活動の場と看護職の役割を理解できる。
		地域・在宅看護論実習 II Community Nursing Practical II	必修	実習	90	(2)					90		地域社会の保健・医療・福祉サービスを総合的に捉え、地域で生活しながら療養する人と、その家族の健康問題を理解し、生活の場における看護の実践を理解できる。
		成人看護学実習 I General Nursing Practical I	必修	実習	90	(2)				90			生命や身体的機能を脅かされるような危機状態にある人が、順調に回復し社会復帰に向け自立が図れるような援助の方法を修得できる。
		成人看護学実習 II General Nursing Practical II	必修	実習	90	(2)				90			慢性期および回復期にある対象者の身体的・精神的・社会的・霊的特性、ならびに健康問題について理解し、セルフケア能力を高めるための援助ができる。
		成人看護学実習 III General Nursing Practical III	必修	実習	90	(2)					90		終末期にある患者及び家族の全人的苦痛と、苦痛の緩和及びQOL維持への援助を理解できる。
		老年看護学実習 Geriatric Nursing Practical	必修	実習	90	(2)					90		通所介護及び療養施設を利用する高齢者の状態や在宅での生活、家族の状況、利用目的などを理解し、必要な援助を知ることができる。
		小児看護学実習 Pediatric Nursing Practical	必修	実習	90	(2)					90		発達段階に応じた日常生活援助ができる能力を養い、健康障害を持つ子どもとその家族の特徴を理解できる。障害児の療育環境及び家族の特徴を理解し対象に応じた看護を実践できる基礎的能力を修得できる。
		母性看護学実習 Maternity Nursing Practical	必修	実習	60	(2)					60		施設で取り組まれている保健活動の実際を通して、子どものよりよい成長・発達を促すための子育て支援について学び、妊娠褥婦・新生児およびその家族を理解し、対象に応じた看護を実践できる基礎的能力を修得できる。
		精神看護学実習 Mental Health Nursing Practical	必修	実習	90	(2)					90		精神科病棟で生活する精神を病む人々を理解できる。また、受け持ち患者との治療的コミュニケーションと看護過程を通して、精神を病む人々の看護に必要な知識・技術・態度を修得できる。
		看護の統合と実践実習 I Final Practical I	必修	実習	90	(2)					90		臨床の現場において多重課題のなかで看護を判断し、既習の知識・技術・態度を統合し安全に配慮し、個別性のニーズを重視して瞬時に判断する能力を修得できる。
看護の統合と実践実習 II Final Practical II	必修	実習	30	(1)					30		実際の救急現場活動を見学することによって、出勤から現場活動、搬送、医療機関引き継ぎ、救急活動記録記載や救急訓練などの救急業務について理解できる。		

2025年度 教育課程

薬業科 コース共通

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的 思考の 基盤	情報処理 I Data Processing I	必修	演習	30	(2)		30			Windowsの基本操作とWordでの文章、図形、表の作成ができるようになる。
		情報処理 II Data Processing II	必修	演習	30	(2)			30	Windowsの基本操作とExcelでの数式の作成、表の編集、グラフ作成ができるようになる。	
	生 人間と 生活の 理 人間	英会話 English Conversation and Terminology of Medical	必修	講義	30	(2)		30			グローバルな感性を養い、国際化に対応できる日常英会話や病院での実践英会話と医療用語を修得することができるようになる。
		コミュニケーションスキル Communication Skill	必修	講義	30	(2)	30				自己との対話や様々な感覚・覚醒の練習を通して、豊かな人間形成を図り、それをベースに日常のコミュニケーションを作り出すことができるようになる。
専門基礎分野	医療と サー ビス	ホスピタリティ Hospitality	必修	講義	30	(2)		30			ホスピタリティの基本を理解し、接客や接遇の場面でホスピタリティ精神を発揮することができるようになる。
		ビジネス文書 Business Document	必修	講義	30	(2)			30		ビジネス文書を正しく理解し、ビジネスで使われる基本的な文書が書けるようになる。
		接客カウンセリング Service Counseling Case Study	必修	演習	30	(2)			30		接客応対技術をお客様・患者様の心理的な側面より理解し、購買に繋げるカウンセリングができるようになる。
	医学 基礎 知識	解剖生理学 I Anatomical Physiology I	必修	講義	30	(2)	30				人体総論及び、骨格系・皮膚・感覚器系・筋系など体の構造と働きについて説明ができるようになる。
		解剖生理学 II Anatomical Physiology II	必修	講義	30	(2)	30				人体総論及び、骨格系・皮膚・感覚器系・筋系など体の構造と働きについて説明ができるようになる。
		解剖生理学 III Anatomical Physiology III	必修	講義	30	(2)		30			呼吸器系・循環器系・消化器系など体の構造と働きについて説明ができるようになる。
		解剖生理学 IV Anatomical Physiology IV	必修	講義	30	(2)		30			神経系・生殖器系・泌尿器系・内分泌系など体の構造と働きについて説明ができるようになる。
		病態生理学 Pathophysiology	必修	講義	30	(2)	30				病気にかかる原因・主因及び誘因について説明ができるようになる。
		臨床医学 Clinical Medicine	必修	講義	30	(2)			30		内科系・外科系など主な病気とその治療内容について説明ができるようになる。
	専門分野	医療と 法	薬事関係法規 The Drugs' Cosmetics and Medical Instrument Relevant Statute	必修	講義	30	(2)	30			
医薬品の適正使用 ・安全対策 Correct Use of Drugs Safety Measure			必修	講義	30	(2)		30			医薬品の適正使用情報・医薬品の安全対策について説明ができるようになる。
専門 知識		体の症状とヘルスケア Body Symptoms and Health Care	必修	講義	30	(2)	30				人体の症状とそのヘルスケアについて説明ができるようになる。
		こころとヘルスケア Mind and Health Care	必修	講義	30	(2)	30				こころの病気に起因した病気について学び、アドバイザーとしての知識を修得し、基礎的なヘルスケアができるようになる。
		薬とヘルスケア Medicine and Health Care	必修	講義	30	(2)	30				セルフメディケーションを推進する上で最も重要な一般用医薬品について理解し、医療従事者として情報提供ができるようになる。
		病気とヘルスケア Sickness and Health Care	必修	講義	30	(2)	30				病気の予防・改善・健康の維持・増進を図るための説明ができるようになる。

2025年度 教育課程

薬業科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
専門分野	介護・応急処置・運動・対応 Nursing Care・First Aid ・Exercise・Responding to Patients	必修	講義	30	(2)	30				介護・応急処置・運動・対応の基礎知識を学び、説明ができるようになる。
	栄養・食生活・育児 Nutrition and Dietary Habits and Childcare	必修	講義	30	(2)	30				人が健康な生活を送る為に必要な栄養・食生活について、患者様へのアドバイスができるようになる。
	一般用医薬品論Ⅰ Over the Counter Drugs Theory Ⅰ	必修	講義	30	(2)	30				薬事法を中心に規制される病気の予防や診断、治療に用いられる医薬品の基礎について学び、医薬品の定義について説明ができるようになる。
	一般用医薬品論Ⅱ Over the Counter Drugs Theory Ⅱ	必修	講義	30	(2)	30				医薬品の副作用、薬効・毒性に影響する因子、医薬品の成分説明と情報提供について説明ができるようになる。
	一般用医薬品論Ⅲ Over the Counter Drugs Theory Ⅲ	必修	講義	30	(2)		30			医薬品について、薬効群および基本情報・作用、選択時の注意など、成分説明と情報提供について説明ができるようになる。
	一般用医薬品論Ⅳ Over the Counter Drugs Theory Ⅳ	必修	講義	30	(2)		30			医薬品について、薬効群および基本情報・作用、選択時の注意など、成分説明と情報提供について説明ができるようになる。
	一般用医薬品論Ⅴ Over the Counter Drugs Theory Ⅴ	必修	講義	30	(2)		30			医薬品について、薬効群および基本情報・作用、選択時の注意など、成分説明と情報提供について説明ができるようになる。
	一般用医薬品論Ⅵ Over the Counter Drugs Theory Ⅵ	必修	講義	30	(2)		30			医薬品について、薬効群および基本情報・作用、選択時の注意など、成分説明と情報提供について説明ができるようになる。
	一般用医薬品論Ⅶ Over the Counter Drugs Theory Ⅶ	必修	講義	30	(2)			30		医薬品について、薬効群および基本情報・作用、選択時の注意など、成分説明と情報提供について説明ができるようになる。
	一般用医薬品論Ⅷ Over the Counter Drugs Theory Ⅷ	必修	講義	30	(2)			30		医薬品について、薬効群および基本情報・作用、選択時の注意など、成分説明と情報提供について説明ができるようになる。
	一般用医薬品論Ⅸ Over the Counter Drugs Theory Ⅸ	必修	講義	30	(2)			30		医薬品について、薬効群および基本情報・作用、選択時の注意など、成分説明と情報提供について説明ができるようになる。
	一般用医薬品論Ⅹ Over the Counter Drugs Theory Ⅹ	必修	講義	30	(2)			30		医薬品について、薬効群および基本情報・作用、選択時の注意など、成分説明と情報提供について説明ができるようになる。
	基礎漢方学Ⅰ Basic Oriental Medicine Ⅰ	必修	講義	30	(2)				30	東洋医学の観点から、漢方薬の成分・効能効果・副作用の基礎について説明ができるようになる。
	基礎漢方学Ⅱ Basic Oriental Medicine Ⅱ	必修	講義	30	(2)				30	東洋医学の観点から、漢方薬の成分・効能効果・副作用の基礎について説明ができるようになる。
	卒業研究Ⅰ Graduation Study Ⅰ	必修	演習	30	(2)			30		2年間学習したことや体得したことを、個人またはグループでテーマを設定し、発表することができるようになる。
卒業研究Ⅱ Graduation Study Ⅱ	必修	演習	30	(2)				30	2年間学習したことや体得したことを、個人またはグループでテーマを設定し、発表することができるようになる。	
卒業研究Ⅲ Graduation Study Ⅲ	必修	演習	30	(2)				30	2年間学習したことや体得したことを、個人またはグループでテーマを設定し、発表することができるようになる。	

2025年度 教育課程

薬業科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
専門分野	SPI Synthetic Personality Inventory	必修	講義	30	(2)		30			就職試験を成功させるために対策学習を学び、就職活動に対応できる能力を身につけることができるようになる。
	登録販売者特別講座Ⅰ Registered Drug Distributor License Special LectureⅠ	必修	講義	30	(2)			30		登録販売者試験の対策学習を行い、試験に合格することができるようになる。
	登録販売者特別講座Ⅱ Registered Drug Distributor License Special LectureⅡ	必修	講義	30	(2)			30		登録販売者試験の対策学習を行い、試験に合格することができるようになる。
	登録販売者特別講座Ⅲ Registered Drug Distributor License Special LectureⅢ	必修	講義	30	(2)			30		登録販売者試験の対策学習を行い、試験に合格することができるようになる。
	登録販売者特別講座Ⅳ Registered Drug Distributor License Special LectureⅣ	必修	講義	30	(2)			30		登録販売者試験の対策学習を行い、試験に合格することができるようになる。
	登録販売者特別講座Ⅴ Registered Drug Distributor License Special LectureⅤ	必修	講義	30	(2)				30	登録販売者試験の対策学習を行い、試験に合格することができるようになる。
	登録販売者特別講座Ⅵ Registered Drug Distributor License Special LectureⅥ	必修	講義	30	(2)				30	登録販売者試験の対策学習を行い、試験に合格することができるようになる。
	登録販売者特別講座Ⅶ Registered Drug Distributor License Special LectureⅦ	必修	講義	30	(2)				30	登録販売者試験の対策学習を行い、試験に合格することができるようになる。
	登録販売者特別講座Ⅷ Registered Drug Distributor License Special LectureⅧ	必修	講義	30	(2)				30	登録販売者試験の対策学習を行い、試験に合格することができるようになる。
	登録販売者特別講座Ⅸ Registered Drug Distributor License Special LectureⅨ	選択 必修	講義	30	(2)				30	登録販売者試験の対策学習を行い、試験に合格することができるようになる。
	実習指導Ⅰ Clinical GuidanceⅠ	必修	講義	30	(2)	30				ドラッグストアにおける実務実習について、現場での留意点や技術向上のための知識を身につけることができるようになる。
	実習指導Ⅱ Clinical GuidanceⅡ	必修	講義	30	(2)	30				ドラッグストアにおける実務実習について、現場での留意点や技術向上のための知識を身につけることができるようになる。
	実習指導Ⅲ Clinical GuidanceⅢ	必修	講義	30	(2)		30			ドラッグストアにおける実務実習について、現場での留意点や技術向上のための知識を身につけることができるようになる。
	就職指導 Career Guidance	必修	演習	30	(2)			30		就職活動を成功させるために社会人基礎力を学び、履歴書作成・面接の実践ができるようになる。
	ドラッグストア実務実習 On the Job Training in a Drugstore	選択 必修	実習	960	(32)	180	300	300	180	登録販売者(店舗管理者)の要件である実務実習を月80時間程度行い、実践的な知識と技術を身につけることができるようになる。
	海外実学研修 Overseas Study Tour	選択	実習	時数による				随時		海外の歴史や文化に触れ、国際的な感性を養う。また、施設の見学を通して、最先端の知識を身につけることができるようになる。
	特別講義 Special Lecture	選択	講義	4回で1単位				随時		特別講師による講義や業界の方による講義を実施し、専門性の高い知識と技術を身につけることができるようになる。
ゼミ活動 Seminar Activity	選択	講義	4回で1単位				随時		業界で必要な知識をより深く理解するため、自らテーマを設定することができるようになる。	

2025年度 教育課程

薬業科 医薬品登録販売者コース

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	
専門分野	専門科目	東洋医学 Traditional Chinese Medicine	必修	講義	30	(2)		30			東洋医学的な立場から疾病の診断・治療方法を学び、説明ができるようになる。
		漢方学 Chinese Medicine Theory	必修	講義	30	(2)			30		漢方薬の成分・効能効果・副作用について学ぶ。また、漢方処方の方針について学び説明ができるようになる。
		流通・小売業 Retail Business	必修	講義	30	(2)		30			生産者や卸売業者から仕入れた商品を、消費者に販売するための仕組みや流通について説明ができるようになる。
		簿記・販売 Bookkeeping	必修	講義	30	(2)		30			企業における経理事務に必要な会計知識の修得と経営分析ができるようになる。
		販売士 I Serviceperson Certification I	必修	講義	30	(2)			30		マーケティングの基本的な考え方など知識・技能を身につけ、販売担当として接客や売場づくりができるようになる。
		販売士 II Serviceperson Certification II	必修	講義	30	(2)			30		マーケティングの基本的な考え方など知識・技能を身につけ、販売担当として接客や売場づくりができるようになる。
		サプリメント I Supplement I	必修	講義	30	(2)				30	サプリメントの基礎知識を学び、健康の維持・増進、栄養素の補給や強化などの説明ができるようになる。
		サプリメント II Supplement II	必修	講義	30	(2)				30	サプリメントの基礎知識を学び、健康の維持・増進、栄養素の補給や強化などの説明ができるようになる。
		ドラッグストア総論 I General Introduction to Drugstores I	必修	講義	30	(2)			30		ドラッグストアに関する総合的な知識を学ぶ。様々な分野の商品知識を修得し、説明ができるようになる。
		ドラッグストア総論 II General Introduction to Drugstores II	必修	講義	30	(2)				30	ドラッグストアに関する総合的な知識を学ぶ。様々な分野の商品知識を修得し、説明ができるようになる。
		ドラッグストア総論 III General Introduction to Drugstores III	選択 必修	講義	30	(2)				30	ドラッグストアに関する総合的な知識を学ぶ。様々な分野の商品知識を修得し、説明ができるようになる。

2025年度 教育課程

薬業科 美容アドバイザーコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期		
専門分野	専門科目	美容概論 I Introduction to Beauty I	必修	講義	30	(2)	30				皮膚の構造やスキンケアの知識を理解し、肌悩みに応じた化粧品の使い方を説明することができるようになる。
		美容概論 II Introduction to Beauty II	必修	講義	30	(2)		30			皮膚の構造やスキンケアの知識を理解し、肌悩みに応じた化粧品の使い方を説明することができるようになる。
		メイクアップテクニック I Make Up Technique I	必修	演習	30	(2)		30			道具の使い方・ベースメイク・アイメイクのテクニックを学び、実践ができるようになる。
		メイクアップテクニック II Make Up Technique II	必修	演習	30	(2)		30			道具の使い方・ベースメイク・アイメイクのテクニックを学び、実践ができるようになる。
		メイクアップテクニック III Make Up Technique III	必修	演習	30	(2)			30		道具の使い方・ベースメイク・アイメイクのテクニックを学び、実践ができるようになる。
		メイクアップテクニック IV Make Up Technique IV	必修	演習	30	(2)			30		道具の使い方・ベースメイク・アイメイクのテクニックを学び、実践ができるようになる。
		トータルビューティー I Total Beauty I	必修	演習	30	(2)			30		カウンセリングからフルメイク・ヘアアレンジなど総合的な実践ができるようになる。
		トータルビューティー II Total Beauty II	必修	演習	30	(2)			30		カウンセリングからフルメイク・ヘアアレンジなど総合的な実践ができるようになる。
		トータルビューティー III Total Beauty III	必修	演習	30	(2)				30	カウンセリングからフルメイク・ヘアアレンジなど総合的な実践ができるようになる。
		トータルビューティー IV Total Beauty IV	必修	演習	30	(2)				30	カウンセリングからフルメイク・ヘアアレンジなど総合的な実践ができるようになる。
		トータルビューティー V Total Beauty V	必修	演習	30	(2)				30	カウンセリングからフルメイク・ヘアアレンジなど総合的な実践ができるようになる。
		アロマセラピー Aromatherapy	必修	演習	30	(2)		30			精油などの基礎知識を学び、アロマセラピーを安全に使用することができるようになる。
		美容総合 I General Introduction to Beauty Care I	選択 必修	演習	30	(2)				30	化粧品選びからフルメイク、スキンケアなど、美容について総合的な説明が出来るようになる。
		美容総合 II General Introduction to Beauty Care II	選択 必修	演習	30	(2)				30	化粧品選びからフルメイク、スキンケアなど、美容について総合的な説明が出来るようになる。

2025年度 教育課程

薬業科 調剤薬局事務コース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
専門分野	調剤報酬Ⅰ Dispensing Fee Billing I	必修	講義	30	(2)	30				調剤薬局に必要な調剤報酬請求事務の基礎を学び、実務に活かすことができるようになる。
	調剤報酬Ⅱ Dispensing Fee Billing II	必修	講義	30	(2)		30			調剤薬局に必要な調剤報酬請求事務の基礎を学び、実務に活かすことができるようになる。
	調剤報酬特別講座Dispensing Fee Billing Special Course	必修	講義	30	(2)			30		調剤報酬請求事務専門士検定の対策学習を行い、検定に合格することができるようになる。
	診療報酬請求事務Ⅰ Medical Processor Basic I	必修	講義	30	(2)		30			病院事務職の知識として必須である診療報酬請求事務の基礎を修得し、外来会計の検定資格を取得できるようになる。
	診療報酬請求事務Ⅱ Medical Processor Basic II	必修	講義	30	(2)		30			病院事務職の知識として必須である診療報酬請求事務の基礎を修得し、外来会計の検定資格を取得できるようになる。
	診療報酬請求事務Ⅲ Medical Processor Basic III	必修	講義	30	(2)			30		病院事務職の知識として必須である診療報酬請求事務の基礎を修得し、外来会計の検定資格を取得できるようになる。
	診療報酬請求事務Ⅳ Medical Processor Basic IV	必修	講義	30	(2)			30		病院事務職の知識として必須である診療報酬請求事務の基礎を修得し、外来会計の検定資格を取得できるようになる。
	医療関連法規 Related Regulations	必修	講義	30	(2)		30			医療に関する法律や、健康保険について学ぶ。また薬務法規・公費負担医療の基礎知識等の理解を深め、説明ができるようになる。
	臨床医学Ⅱ Clinical Medicine II	必修	講義	30	(2)			30		診療報酬請求に必要な医学知識として、内科・外科などの主な病気とその治療法について学び、正しく医療請求ができるようになる。
	コンピュータ関連知識 Basic Medical Informatics	必修	講義	30	(2)			30		医療情報システムの理解と基礎技術を資格取得レベルで修得できるようになる。
	医事コンピュータ・医療事務M Medical Informatics/Medical Affairs	必修	講義	15	(1)				15	医事コンピュータにかかる医療保険制度・診療報酬・外来診療など基本的な医療事務知識を説明することができるようになる。
	医事コンピュータⅠ Medical Informatics I	必修	演習	30	(2)				30	医療機関で使用されているコンピュータを使用し、保険請求の一連の流れを理解し、オペレーター業務ができるようになる。
	医事コンピュータⅡ Medical Informatics II	必修	演習	30	(2)				30	医療機関で使用されているコンピュータを使用し、保険請求の一連の流れを理解し、オペレーター業務ができるようになる。
	医療秘書技能検定(演習) M	必修	演習	30	(2)			30		医療秘書技能検定の対策学習を行い、検定に合格することができるようになる。
検定対策 Test Preparation	必修	講義	15	(1)				15	医事コンピュータ技能検定の対策学習を行い、検定に合格することができるようになる。	

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期		
基礎分野	英会話 English Conversation	必修	講義	30	(2)	30				国際化に対応できる日常英会話を身につけるとともに、グローバルな感性を養うことができる。	
	コミュニケーションスキル Communication Skill	必修	講義	30	(2)	30				対人援助職として必要なコミュニケーションを行うことができる。	
	コンピュータ Information Literacy	必修	演習	30	(2)		30			ビジネス能力の一つとして、Microsoft officeの基礎技術を修得することができる。	
	就職試験対策講座 Interview Test Preparation Course	選択 必修	講義	30	(2)			30		就職活動で必要となるスキルとマナーを身につけ、就職活動に活かすことができる。	
専門基礎分野	人体の構造と機能	スポーツ生理学 Exercise Physiology	必修	講義	30	(2)	30				運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、運動によって起こる身体的機能変化を理解することができる。
		スポーツ生理学2 Exercise Physiology II	必修	講義	30	(2)		30			運動によって生じる体の変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、運動によって起こる身体的機能変化を理解することができる。
		発育発達 Growth Development	必修	講義	30	(2)		30			発達段階に応じた運動指導を学び、指導を行うことができる。
		健康管理概論 Health Care Theory	選択 必修	講義	30	(2)			30		健康づくりや疾病予防の基礎的な知識の考え方を理解し、年代層に応じた健康指導を説明することができる。
	運動障害と予防	スポーツ医学 Sports Medicine	必修	講義	30	(2)		30			スポーツ障害にもならず、内科的疾患を有する人々のスポーツ医学や薬物の基礎知識を理解し、障害予防でのリハビリテーション、コンディショニングを修得することができる。
	健康づくりと運動プログラミング	スポーツ心理学 Sports Psychology	必修	講義	30	(2)	30				運動指導する際の心理学に関する科学的な専門知識を身につけ、指導に活かすことができる。
		体力測定法 Physical Fitness Test	必修	演習	30	(2)	30				体力の構成概念に基づいた各要素の知識を深めると共に、それぞれの正しい体力測定法を理解し、説明することができる。
		スポーツ栄養学 Sports Nutrition	必修	講義	30	(2)	30				一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明することができる。
		スポーツ栄養学2 Sports Nutrition II	必修	講義	30	(2)		30			一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明することができる。
		スポーツ社会学 Sport Sociology	必修	講義	30	(2)		30			スポーツの歴史を学び、スポーツが社会へ及ぼす影響について、読み解く力を身につけ、まとめることができる。
		プログラムデザイン Program Design	必修	講義	30	(2)		30			対象者別のトレーニングプログラムの作成方法を学び、作成することができる。
		コーチング論 Instruction and Coaching	選択 必修	講義	30	(2)			30		運動指導に必要な指導法や、コーチングにおける知識を学ぶと同時に、具体例を提示し実用的なコーチングスキルを身につけ、まとめることができる。
	各種トレーニングの理論と実際	コンディショニング Conditioning	必修	演習	30	(2)	30				身体の調整を行うための技術を身につけ、実際に身体調整をすることができる。
フィットネスエクササイズ Fitness Exercise		必修	演習	30	(2)	30				エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。	
水中運動指導法 Teaching Method of Aquabics		必修	演習	15	(1)	15				水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶとともに水泳の基本動作を指導することができる。	

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
特別 教育 科目	進路指導 Career Guidance	選択 必修	講義	30	(2)	30				業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考えることができる。
	進路指導2 Career Guidance II	選択 必修	講義	30	(2)		30			業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考えることができる。
	進路指導3 Career Guidance III	選択 必修	講義	30	(2)			30		業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考えることができる。
	進路指導4 Career Guidance IV	選択 必修	講義	30	(2)				30	業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考えることができる。
	ゼミ Seminar	必修	演習	30	(2)			30		現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につけることができる。
	ゼミ2 Seminar II	必修	演習	30	(2)				30	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけるとともに、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につけることができる。
	進級制作 Promotion Work	必修	演習	30	(2)			30		ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表することができる。
	卒業制作 Graduation Project	必修	演習	30	(2)				30	ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表することができる。
	業界研修 Work Experience Program	選択	実習	60	(2)		60			学習した知識・技術を実践で使い、実践力や社会人基礎力を身につけることができる。
	インターンシップ Internship	選択 必修	実習	60	(2)			60		インターンシップを通して職業観を養い、就職活動に活かすことができる。
	専門実技演習 Professional Practical Exercise	選択 必修	演習	30	(2)			30		専門的な実習を通し、より専門性の高い指導や説明することができる。
	専門科目 Specialized Subject	選択 必修	講義 演習	30	(2)			30		さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。
	専門科目2 Specialized Subject II	選択 必修	講義 演習	30	(2)			30		さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。
	専門科目3 Specialized Subject III	選択 必修	講義 演習	30	(2)				30	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。
	専門科目4 Specialized Subject IV	選択 必修	講義 演習	30	(2)				30	さらに高めたい専門性について学ぶと同時に追求し、知識と指導力を向上させることができる。
	イベント・ボランティア活動 Event/Volunteer Activity	選択 必修	実習	60	(2)		30		30	学内外で行われる様々なイベントやボランティア活動を通してリーダーシップ、フォロワーシップを体得することができる。
海外実学研修 Overseas Study Tour	選択	実習	時数による				随時		海外の歴史や文化に触れ、国際的な感性を養う。また、施設の見学を通して最先端の技術を学び、学んできたことへの理解を深めることができる。	
特別講義 Special Lecture	選択 必修	講義	4回で1単位				随時		業界で活躍している特別講師を招き、最新の話題についての講義を受け、理解を深めることができる。	

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
特別 教育 科目	健康運動実践指導者 基礎講座 Health and Exercise Instructor (Basic-Level Lecture)	選択 必修	講義	30	(2)			30		「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができるようになる。
	健康運動実践指導者 筆記試験対策講座 Health and Exercise Instructor (Paper)	選択 必修	講義	30	(2)				30	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができるようになる。
	健康運動実践指導者 実技試験対策講座 Health and Exercise Instructor (Practice)	選択 必修	演習	30	(2)				30	「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導ができるようになる。
	アスリート フードマイ スター Athlete Food Meister	選択 必修	講義	15	(1)	15				アスリートのパフォーマンスを最大化するための最適な食プログラムを学び、クライアントに合わせた食事指導をすることができる。
	SAQインストラクター レベル1 試験対策講座 SAQ Instructor Level I	選択 必修	演習	30	(2)	30				スピードシステムや解剖学的な視点から知識や動作を獲得し、コーチング視点を身につけることができる。
	幼児体育 指導者 Exam Preparation for Child P.E. Instructor	選択 必修	演習	15	(1)	随時				子どもに身体を動かす楽しさや素晴らしさを伝えることができる。理論・指導手順・手本・補助を正しく学び、自信を持って指導できるスキルを身につけることができる。
	FTP ピラティス Exam Preparation for FTP Pilates	選択 必修	演習	30	(2)			30		身体の内側に意識を集中させ、全身をバランスよく動かしながら、身体の筋肉を鍛えゆがみのない柔軟性のあるしなやかな身体を身につけ、指導することができる。
	ADI 筆記試験対策講 座 Class for ADI Test (Paper)	選択 必修	講義	30	(2)			30		集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につけることができる。
	ADI 実技試験対策講 座 Class for ADI Test (Practice)	選択 必修	演習	30	(2)			30		集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につけることができる。
	ADI スキルアップ Skill Up	選択 必修	演習	30	(2)			30		集団を動かす指導力と実演力、様々なグループエクササイズに対応できる応用力を身につけることができる。
	JATI トレーニング指導者 基礎講座 Basic Seminar for JATI-ATI	選択 必修	講義	30	(2)			30		科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を修得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができるようになる。
	JATI トレーニング指導者 受験対策講座 Exam Preparation for JATI-ATI	選択 必修	講義	30	(2)				30	科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を修得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導ができるようになる。
フィッ ター Sports Shoefitter	選択 必修	講義	15	(1)		15			足の機能解剖や疾患の評価、治療に関する知識や形態観察とサイジング技術を修得し、目的に合った正しいシューズ選びとインソール選択のアドバイスができるようになる。	

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期		
特別教育科目	AT受験対策講座 Exam Preparation for AT	選択 必修	講義	30	(2)		30			専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体カトレーニング、コンディショニングなどができるようになる。	
	AT受験対策講座2 Exam Preparation for AT II	選択 必修	講義	30	(2)			30		専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体カトレーニング、コンディショニングなどができるようになる。	
	AT受験対策講座3 Exam Preparation for AT III	選択 必修	講義	30	(2)				30	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体カトレーニング、コンディショニングなどができるようになる。	
	AT受験対策講座4 Exam Preparation for AT IV	選択 必修	講義	30	(2)				30	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体カトレーニング、コンディショニングなどができるようになる。	
	AT実技対策講座 Exam Preparation for AT(Practice)	選択 必修	演習	30	(2)				30	専門的な医学知識を有し、競技者の健康管理、スポーツ障害・外傷の予防、救急処置、アスレティックリハビリテーション及び体カトレーニング、コンディショニングなどができるようになる。	
	ラ イ デ イ カ ル パ ワ ー	RF受験対策講座 Exam Preparation for Radical Fitness	選択 必修	演習	30	(2)			30		バーベルとプレートを使用したアスレティックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができるようになる。
		RF受験対策講座2 Exam Preparation for Radical Fitness II	選択 必修	演習	30	(2)				30	バーベルとプレートを使用したアスレティックトレーニング理論に基づく、全身の筋力向上を目的とした画期的なプログラムの指導ができるようになる。
	リ ト モ ス	リトモス受験対策講座 Exam Preparation for Ritmos	選択 必修	演習	30	(2)				30	各種のダンス（ヒップホップ、ラテン、ダンス、サルサトン、ジャズ、アラビアン、レゲトン）レッスンができるようになる。
	健 康 予 防 管 理 専 門 士	健康予防管理専門士 受験対策講座 Exam Preparation for Health The Prevention Management	選択 必修	講義	30	(2)		30			年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができるようになる。
		健康予防管理専門士 受験対策講座2 Exam Preparation for Health The Prevention Management II	選択 必修	講義	15	(1)			15		年齢・性別や生活習慣に合わせて健康管理・指導など一次予防を実施する知識と具体的方法を講じることができるようになる。
	N S C A (C P T)	NSCA受験対策講座 Exam Preparation for NSCA	選択 必修	講義	30	(2)			30		年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができるようになる。
		NSCA受験対策講座2 Exam Preparation for NSCA II	選択 必修	講義	30	(2)				30	年齢・性別・経験を問わず幅広い層に対してトレーニング指導を行うため、トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニング指導ができるようになる。
	M O S ス ペ シ ヤ リ ス ト	MOSスペシャリスト受験講 座 Microsoft Office Specialist Certification Course	選択 必修	講義	30	(2)			30		ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを修得できるようになる。
		MOSスペシャリスト受験講 座2 Microsoft Office Specialist Certification Course II	選択 必修	講義	30	(2)				30	ビジネスシーンで必要となるパソコンスキルを修得できるようになる。
	C P R	救急法 Technique for Emergency Treatment and Lifesaving	選択 必修	講義 演習	30	(2)		30			人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを修得できるようになる。

* 救急法とコース選択資格の他に最低1資格を選択し、4単位以上を修得すること

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 アスレティックトレーナーコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
専門分野 専門科目	アスレティックトレーナー論 Athletic Trainer Theory	選択 必修	講義	30	(2)	30				スポーツ環境におけるアスレティックトレーナーの役割とその業務を具体的に説明することができる。
	スポーツ整形外科学 Sports Orthopedics	選択 必修	講義	30	(2)	30				アスレティックトレーナーが活動を行う上で必要なスポーツ外傷・障害について適切な対処ができる。
	ピラティス Pilates	選択 必修	演習	30	(2)	30				体幹を中心に身体の動きを作り出すストレッチング・トレーニング方法を学び、実践できる。
	機能的解剖学 Functional Anatomy	選択 必修	講義	30	(2)	30				人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
	ボディケア Body Care Technique	選択 必修	演習	30	(2)	30				ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけて実践できる。
	スポーツ障害 Sports Injury Theory	選択 必修	講義 演習	30	(2)	30				運動によって生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーマを実践することができる。
	レジスタンス Resistance Training	選択 必修	演習	30	(2)	30				トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導をすることができる。
	アスレティックテーピング Athletic Taping Method	選択 必修	演習	30	(2)	30				スポーツ指導者やアスレティックトレーナーとして、必要な外傷・障害予防を目的としたテーピングの基本的な方法を学び、実践することができる。
	スポーツ障害2 Sports Injury Theory II	選択 必修	演習	30	(2)		30			運動によって生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーピングができる。
	スポーツ整形外科学2 Sports Orthopedics II	選択 必修	講義	30	(2)		30			アスレティックトレーナーが活動を行う上で必要なスポーツ外傷・障害について適切な対処ができる。
	スポーツ心理学2 Sports Psychology II	選択 必修	講義	30	(2)		30			心理学に関する科学的な専門知識を身につけ、主としてスポーツと人間形成や行動規範などの指導に生かすことができる。
	コンディショニング演習 Conditioning seminar	選択 必修	演習	30	(2)		30			コンディショニング評価の必要性を理解し、その評価方法を学び、評価に適したトレーニング計画の立案、設計ができる。
	スポーツ内科学 Sports Internal Medicine	選択 必修	講義	30	(2)		30			内臓器官などの疾患の病態、症状について認識できるようになるとともに、運動時の対応策（運動許可の条件を含む）、処置、予防策を講じることができる。
	機能的解剖学2 Functional Anatomy II	選択 必修	講義	30	(2)		30			人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
	レジスタンス2 Resistance Training II	選択 必修	演習	30	(2)		30			トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導をすることができる。
	アスレティックテーピング2 Athletic Taping Method II	選択 必修	演習	30	(2)		30			スポーツ指導者やアスレティックトレーナーとして、必要な外傷・障害予防を目的としたテーピングの基本的な方法を学び、実践することができる。
	独立開業論 Entrepreneurial business theory	選択 必修	講義	30	(2)		30			独立・開業に必要な基礎知識からお金の仕組みやマネジメント、企画立案運営について学び、理解することができる。
	応急処置 Emergency Measures	選択 必修	演習	30	(2)			30		救急処置を実施する者は正しい知識とモラルを十分に持つ必要があることを理解し、救急処置を実施する上で必要となる基本的な留意点について理解できる。
	測定評価1 Measurement Evaluation I	選択 必修	演習	30	(2)			30		機能評価のプロセスを説明できるようになり、機能評価に必要な検査測定項目をあげることができる。機能評価における検査測定結果を解釈し、運動機能に関する問題点を抽出できる。
	アスレティック リハビリテーション Athletic Rehabilitation	選択 必修	演習	30	(2)			30		アスレティックリハビリテーションの概要（目標、過程、関係職種と役割、考慮すべき事項等）について理解し、アスレティックリハビリテーションを講じることができる。

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 アスレティックトレーナーコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期		
専門分野	専門科目	コンディショニング演習2 Conditioning Seminar II	選択必修	演習	30	(2)			30		コンディショニング評価の必要性を理解し、その評価方法を学び評価に適したトレーニング計画の立案、設計ができる。
		トレーナー講座 Lecture for Trainers	選択必修	演習	30	(2)			30		コンディショニング評価の必要性を理解し、その評価方法を学び評価に適した計画の立案、設計ができる。
		スポーツバイオメカニクス Sports Biomechanics	選択必修	講義	30	(2)			30		スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。
		スポーツプログラミング Sports Programming	選択必修	講義	30	(2)			30		トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチの理論を説明することができる。
		トレーニング科学 Foundations of Training Theory	選択必修	講義	30	(2)			30		各種トレーニングの基礎理論、指導方法を学び、トレーニング指導をすることができる。
		アスレティックリハビリテーション2 Athletic Rehabilitation II	選択必修	演習	30	(2)				30	アスレティックリハビリテーションの概要(目標、過程、関係職種と役割、考慮すべき事項等)について理解し、アスレティックリハビリテーションを講じることができる。
		測定評価2 Measurement Evaluation II	選択必修	演習	30	(2)				30	機能評価のプロセスを説明できるようになり、機能評価に必要な検査測定項目をあげることができる。機能評価における検査測定結果を解釈し、運動機能に関する問題点を抽出できる。
		アスレティックリハビリテーション3 Athletic Rehabilitation III	選択必修	演習	30	(2)				30	アスレティックリハビリテーションの概要(目標、過程、関係職種と役割、考慮すべき事項等)について理解し、アスレティックリハビリテーションを講じることができる。
		ボディケア2 Body Care Technique II	選択必修	演習	30	(2)				30	ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけて実践できる。
		チーム指導法 Team Coaching Method	選択必修	演習	30	(2)				30	チームに適したトレーニングメニュー作成から指導方法を学び、チーム全体のコンディショニングを整えることができる。
		アスレティックトレーナー実習 Internship for AT	選択必修	実習	180	(6)		随時			実際のスポーツ現場における実習を通して、アスレティックトレーナーとしての技術を身につけることができる。

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 スポーツトレーナーコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
専門分野	トレーニング演習 Personalized Training Design	選択 必修	演習	30	(2)	30				対象者を考慮したトレーニング計画を学び、対象者に応じた筋力トレーニングの指導力を身につけることができる。
	コーディネーション トレーニング Coordination Training	選択 必修	演習	30	(2)	30				体の動きや力加減を調整する能力を鍛えるトレーニング指導法を学び、実践することができる。
	ピラティス Pilates	選択 必修	演習	30	(2)	30				体幹を中心に身体の動きを作り出すストレッチング・トレーニング方法を学び、実践できる。
	機能的解剖学 Functional Anatomy	選択 必修	講義	30	(2)	30				人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
	ボディケア Body Care Technique	選択 必修	演習	30	(2)	30				ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけて実践できる。
	スポーツ障害 Sports Injury Theory	選択 必修	講義 演習	30	(2)	30				運動によって生じる整形外科的障害を理解し、目的に応じたテーマを実践することができる。
	レジスタンス Resistance Training	選択 必修	演習	30	(2)	30				トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導をすることができる。
	ボディケア2 Body Care Technique II	選択 必修	演習	30	(2)		30			ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけて実践できる。
	バランストレーニング Balance Training	選択 必修	演習	30	(2)		30			バランストレーニングの様々なツールを使用した指導法を学ぶ。指導プログラムを立案できる。
	フィットネス エクササイズ2 Fitness Exercise II	選択 必修	演習	30	(2)		30			エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。
	機能的解剖学2 Functional Anatomy II	選択 必修	講義	30	(2)		30			人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
	レジスタンス2 Resistance Training II	選択 必修	演習	30	(2)		30			トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導をすることができる。
	独立開業論 Entrepreneurial business theory	選択 必修	講義	30	(2)		30			独立・開業に必要な基礎知識からお金の仕組みやマネジメント、企画立案運営について学び、理解することができる。
	スクールトレーナー対策座 学 School Training Theory	選択 必修	講義	30	(2)		30			スクールトレーナー実習のトレーニング計画案や実習マナーを身につけるとともに、スクールトレーナー実習に活かすことができる。
	スクールトレーナー対策実 技 Instructional Methods for School Trainers	選択 必修	演習	30	(2)		30			スクールトレーナー実習のトレーニング計画案や実習マナーを身につけるとともに、スクールトレーナー実習に活かすことができる。
	スクールトレーナー実 習 Practical Training	選択 必修	実習	120	(4)		120			中学校や高校などでの部活動にトレーナーとして参加し、指導力や社会人基礎力を身につけることができる。
	機能解剖学演習 Functional Anatomy and Exercise	選択 必修	演習	30	(2)			30		解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。
	対象者別運動指導 Individual Exercise Guidance	選択 必修	演習	30	(2)			30		解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。
トレーニング演習2 Personalized Training Design II	選択 必修	演習	30	(2)			30		対象者を考慮したトレーニング計画を学び、対象者に応じた筋力トレーニングの指導ができる。	
チーム指導法 Team Coaching Method	選択 必修	演習	30	(2)			30		チームに適したトレーニングメニュー作成から指導方法を学び、チーム全体のコンディショニングを整えることができる。	

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 スポーツトレーナーコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期		
専門分野	専門科目										
		リコンディショニング Reconditioning	選択 必修	演習	30	(2)			30		スポーツ障害予防として、選手のコンディショニングに関わる様々な技術を学ぶことができる。
		評価分析 Evaluation Analysis	選択 必修	演習	30	(2)			30		クライアントの特徴について評価方法を学び、静的アライメントおよび動作を評価することができる。
		パーソナル指導法 Personal Trainer Teaching Method	選択 必修	演習	30	(2)			30		パーソナル指導の流れやトレーニングメニューの組み立てを実際の症例をもとに学び、クライアントに合わせた指導ができる。
		パーソナルセッション Personal Session	選択 必修	演習	30	(2)			30		身体機能改善を目的とし、クライアントの現状把握から修正方法、トレーニングと一連の指導法を学び、技術を身につけることができる。
		カイロプラクティック Foundations of Chiropractic Care	選択 必修	演習	30	(2)			30		カイロプラクティックの基本的な知識・技術を学び、基礎から応用まで実践できるようになる。
		ファンクショナル トレーニング Functional Training	選択 必修	演習	30	(2)			30		身体の構造を理解するとともに身体機能を高めるトレーニング方法を学び、指導できるようになる。
		トレーニング分析 Training Analysis	選択 必修	演習	30	(2)			30		トレーニング指導者としての知識はもろん様々なデータを活用し、データに基づき専門性を活かした指導ができる。
		スポーツバイオメカニクス Sports Biomechanics	選択 必修	講義	30	(2)			30		スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。
		スポーツプログラミング Sports Programming	選択 必修	講義	30	(2)			30		トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチの理論を説明することができる。
		トレーニング科学 Foundations of Training Theory	選択 必修	講義	30	(2)			30		各種トレーニングの基礎理論、指導方法を学び、トレーニング指導をすることができる。
		トレーニング総論 Training General Theory	選択 必修	講義	30	(2)				30	「トレーニング」「休養」「栄養」について理解し、対象者に応じた適切な計画を立てることができる。
		パーソナル指導法2 Personal Trainer Teaching Method II	選択 必修	演習	30	(2)				30	パーソナル指導の流れやトレーニングメニューの組み立てを実際の症例をもとに学び、クライアントに合わせた指導ができる。
		パーソナルセッション2 Personal Session II	選択 必修	演習	30	(2)				30	身体機能改善を目的とし、クライアントの現状把握から修正方法、トレーニングと一連の指導法を学び、実践することができる。
カイロプラクティック2 Foundations of Chiropractic Care II	選択 必修	演習	30	(2)				30	カイロプラクティックの基本的な知識・技術を学び、基礎から応用まで実践できるようになる。		

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 パーソナルトレーナーコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期		
専門分野	専門科目		実践術 Practical Training Techniques	選択 必修	演習	30	(2)	30			各部位のトレーニングテクニックを実際に体感することで理解を深め、指導力を高めることができる。
			ピラティス Pilates	選択 必修	演習	30	(2)	30			体幹を中心に身体の動きを作り出すストレッチング・トレーニング方法を学び、実践できる。
			機能的解剖学 Functional Anatomy	選択 必修	講義	30	(2)	30			人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
			ボディケア Body Care Technique	選択 必修	演習	30	(2)	30			ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。
			スポーツ障害 Sports Injury Theory	選択 必修	講義 演習	30	(2)	30			運動によって生じる整形科学的障害を理解し、目的に応じたテーマを実践することができる。
			レジスタンス Resistance Training	選択 必修	演習	30	(2)	30			トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導をすることができる。
			ウエイトコントロール Weight Control	選択 必修	講義	30	(2)		30		クライアント一人ひとりの目的(増量・減量)や年齢代に合わせた食事のアドバイスやトレーニングの指導方法を修得することができる。
			実践術2 Practical Training Techniques II	選択 必修	演習	30	(2)		30		各部位のトレーニングテクニックを実際に体感することで理解を深め、指導力を高めることができる。
			トレーニング演習 Personalized Training Design	選択 必修	演習	30	(2)		30		対象者を考慮したトレーニング計画を学び、対象者に応じた筋力トレーニングの指導力を身につけることができる。
			ボディケア2 Body Care Technique II	選択 必修	演習	30	(2)		30		ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。
			バランストレーニング Balance Training	選択 必修	演習	30	(2)		30		バランストレーニングの様々なツールを使用した指導法を学び、指導プログラムを立案できる。
			フィットネス エクササイズ2 Fitness Exercise II	選択 必修	演習	30	(2)		30		エアロビク的な運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。
			機能的解剖学2 Functional Anatomy II	選択 必修	講義	30	(2)		30		人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
			レジスタンス2 Resistance Training II	選択 必修	演習	30	(2)		30		トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導をすることができる。
			独立開業論 Entrepreneurial business theory	選択 必修	講義	30	(2)		30		独立・開業に必要な基礎知識からお金の仕組みやマネジメント、企画立案運営について学び、理解することができる。
			機能解剖学演習 Functional Anatomy and Exercise	選択 必修	演習	30	(2)			30	解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。
			実践術3 Practical Training Techniques III	選択 必修	演習	30	(2)			30	各部位のトレーニングテクニックを実際に体感することで理解を深め、指導力を高めることができる。
			パーソナル指導法 Personal Trainer Teaching Method	選択 必修	演習	30	(2)			30	クライアント一人ひとりの目的に合ったトレーニングの基礎知識、指導方法を身につけることができる。
	パーソナルセッション Personal Session	選択 必修	演習	30	(2)			30	身体機能改善を目的とし、クライアントの現状把握から修正方法、トレーニングと一連の指導法を学び、技術を身につけることができる。		
	スポーツ栄養学3 Sports Nutrition III	選択 必修	講義	30	(2)			30	運動時における栄養摂取サプリメントについて学ぶとともに、アスリートの食育法を修得することができる。		

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 パーソナルトレーナーコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期		
専門分野	専門科目	スポーツバイオメカニクス Sports Biomechanics	選択必修	講義	30	(2)			30		スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。
		スポーツプログラミング Sports Programming	選択必修	講義	30	(2)			30		トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチの理論を説明することができる。
		トレーニング科学 Foundations of Training Theory	選択必修	講義	30	(2)			30		各種トレーニングの基礎理論、指導方法を学び、トレーニング指導をすることができる。
		コンディショニングテクニック Advanced Conditioning Technique	選択必修	演習	30	(2)			30		コンディショニングの必要性を理解し、その方法を学ぶことで高い専門性を追求し、技術力を身につけることができる。
		トレーニング総論 Training General Theory	選択必修	講義	30	(2)				30	「トレーニング」「休養」「栄養」について理解し、対象者に応じた適切な計画を立てることができる。
		トレーニング演習2 Personalized Training Design II	選択必修	演習	30	(2)				30	対象者を考慮したトレーニング計画を学び、対象者に応じた筋力トレーニングの指導力を身につけることができる。
		パーソナル指導法2 Personal Trainer Teaching Method II	選択必修	演習	30	(2)				30	クライアント一人ひとりの目的に合ったトレーニングの基礎知識、指導方法を身につけることができる。
		パーソナルセッション2 Personal Session II	選択必修	演習	30	(2)				30	身体機能改善を目的とし、クライアントの現状把握から修正方法、トレーニングと一連の指導法を学び、実践することができる。
		機能的解剖学3 Functional Anatomy III	選択必修	講義	30	(2)				30	人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
		実践術4 Practical Training Techniques IV	選択必修	演習	30	(2)				30	各部位のトレーニングテクニックを実際に体感することで理解を深め、指導力を高めることができる。

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 スポーツインストラクターコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期		
専門分野	専門科目										
		トータルビューティ Total Beauty	選択 必修	演習	30	(2)	30				美容の知識を総合的に学び、クライアントに合わせての説明・対応ができる。
		グループレッスン Group Lessons	選択 必修	演習	30	(2)	30				複数と一緒に運動プログラムやリラクゼーションプログラムを体験するとともに、グループに対する指導スキルを身につけることができる。
		ピラティス Pilates	選択 必修	演習	30	(2)	30				体幹を中心に身体の動きを作り出すストレッチング・トレーニング方法を学び、実践できる。
		機能的解剖学 Functional Anatomy	選択 必修	講義	30	(2)	30				人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
		ボディケア Body Care Technique	選択 必修	演習	30	(2)	30				ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけて実践できる。
		スポーツ障害 Sports Injury Theory	選択 必修	講義 演習	30	(2)	30				運動によって生じる整形科学的障害を理解し、目的に応じたテーマを実践することができる。
		レジスタンス Resistance Training	選択 必修	演習	30	(2)	30				トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導をすることができる。
		トータルビューティ2 Total Beauty II	選択 必修	演習	30	(2)		30			美容の知識を総合的に学び、クライアントに合わせての説明・対応ができる。
		ウエイトコントロール Weight Control	選択 必修	講義	30	(2)		30			クライアント一人ひとりの目的(増量・減量)や年齢に合わせた食事のアドバイスやトレーニングの指導方法を修得することができる。
		ボディケア2 Body Care Technique II	選択 必修	演習	30	(2)		30			ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけて実践できる。
		バランストレーニング Balance Training	選択 必修	演習	30	(2)		30			バランストレーニングの様々なツールを使用した指導法を学び、指導プログラムを立案できる。
		フィットネス エクササイズ2 Fitness Exercise II	選択 必修	演習	30	(2)		30			エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。
		機能的解剖学2 Functional Anatomy II	選択 必修	講義	30	(2)		30			人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
		レジスタンス2 Resistance Training II	選択 必修	演習	30	(2)		30			トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導をすることができる。
		ヨガ Yoga	選択 必修	演習	30	(2)		30			理論から呼吸法、実践指導にいたるまでのすべてを学び、実践できる。
		グループレッスン2 Group Lessons II	選択 必修	演習	30	(2)		30			複数と一緒に運動プログラムやリラクゼーションプログラムを体験するとともに、グループに対する指導スキルを身につけることができる。
		独立開業論 Entrepreneurial business theory	選択 必修	講義	30	(2)		30			独立・開業に必要な基礎知識からお金の仕組みやマネジメント、企画立案運営について学び、理解することができる。
機能解剖学演習 Functional Anatomy and Exercise	選択 必修	演習	30	(2)			30		解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。		
対象者別運動指導 Individual Exercise Guidance	選択 必修	演習	30	(2)			30		解剖学的特性を理解し、目的に応じた適切な運動プログラムを提案することができる。		
パーソナル指導法 Personal Trainer Teaching Method	選択 必修	演習	30	(2)			30		クライアント一人ひとりの目的に合ったトレーニングの基礎知識、指導方法を身につけることができる。		

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 スポーツインストラクターコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
専門分野 専門科目	スポーツ栄養学3 Sports Nutrition III	選択 必修	講義	30	(2)			30		運動時における栄養摂取サプリメントについて学ぶとともに、アスリートの食育法を修得することができる。
	評価分析 Evaluation Analysis	選択 必修	演習	30	(2)			30		クライアントの特徴について評価方法を学び、静的アライメント及び動作を評価できる。
	スポーツバイオメカニクス Sports Biomechanics	選択 必修	講義	30	(2)			30		スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。
	スポーツプログラミング Sports Programming	選択 必修	講義	30	(2)			30		トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチの理論を説明することができる。
	トレーニング科学 Foundations of Training Theory	選択 必修	講義	30	(2)			30		各種トレーニングの基礎理論、指導方法を学び、トレーニング指導をすることができる。
	スタジオプログラム Studio Program	選択 必修	演習	30	(2)			30		フィットネス業界で流行しているスタジオプログラムを体験し、スキル・体力を高めることができる。
	トレーニング演習 Personalized Training Design	選択 必修	演習	30	(2)			30		対象者を考慮したトレーニング計画を学び、対象者に応じた筋力トレーニングの指導力を身につけることができる。
	コンディショニング Advanced Conditioning Technique	選択 必修	演習	30	(2)			30		コンディショニングの必要性を理解し、その方法を学ぶことで高い専門性を追求し、技術力を身につけることができる。
	スタジオプログラム2 Studio Program II	選択 必修	演習	30	(2)				30	フィットネス業界で流行しているスタジオプログラムを体験し、スキル・体力を高めることができる。
	フィットネス エクササイズ3 Fitness Exercise III	選択 必修	演習	30	(2)				30	エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。
	パーソナル指導法2 Personal Trainer Teaching Method II	選択 必修	演習	30	(2)				30	クライアント一人ひとりの目的に合ったトレーニングの基礎知識、指導方法を身につけることができる。
	スタジオレッスン2 Studio Lessons II	選択 必修	演習	30	(2)				30	フィットネス業界で必要なスキルであるスタジオでのレッスン技術を修得し、スキル・体力を高めることができる。

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 スポーツビジネスコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	
専門分野 専門科目	コンピュータ Information Literacy	選択 必修	演習	30	(2)	30				ビジネス能力の一つとして、Microsoft officeの基礎技術を修得することができる。
	スポーツビジネス Sports Business	選択 必修	講義	30	(2)	30				「スポーツによって人が動く仕組みづくり」や「スポーツへの参画率を高める仕組みづくり」について説明ができる。
	スポーツマネジメント Sports Management	選択 必修	講義	30	(2)	30				スポーツマネジメントを理解する上で必要な基礎知識や概念を学び、理解することができる。
	フィットネスクラブマネジ メント Fitness Club Management	選択 必修	講義	30	(2)	30				店舗運営や企業内人材育成のための基礎知識やスキルを身につけることができる。
	エンタメビジネス Entertainment Business	選択 必修	講義	30	(2)	30				スポーツ現場におけるエンターテインメントの価値や仕組み、その将来性を学び理解することができる。
	スポーツビジネス2 Sports Business II	選択 必修	講義	30	(2)		30			「スポーツによって人が動く仕組みづくり」や「スポーツへの参画率を高める仕組みづくり」について説明ができる。
	デザイン Design	選択 必修	演習	60	(4)		60			デザインに関する基礎を学び、ホームページ・広告のデザイン基礎を身につけることができる。
	映像制作 Video Production	選択 必修	演習	60	(4)		60			映像制作に関わる一連の知識・技術を修得し、自ら企画・制作できる力を身につけることができる。
	スポーツマネジメント2 Sports Management II	選択 必修	講義	30	(2)		30			スポーツマネジメントを理解する上で必要な基礎知識や概念を学び、理解することができる。
	フィットネスクラブマネジ メント2 Fitness Club Management II	選択 必修	講義	30	(2)		30			店舗運営や企業内人材育成のための基礎知識やスキルを身につけることができる。
	エンタメビジネス2 Entertainment Business II	選択 必修	講義	30	(2)		30			スポーツ現場におけるエンターテインメントの価値や仕組み、その将来性を学び理解することができる。
	イベント Event Planning	選択 必修	講義	30	(2)			30		資料作成技術、プレゼンテーション能力、ビジネススキルを身につけることができる。
	マーケティング Marketing	選択 必修	講義	30	(2)			30		マーケティングの知識を修得し、実践的なマーケティングにおいて解決・対応できる力を身につけることができる。
	WEBマーケティング Web Marketing	選択 必修	講義	30	(2)			30		日々変化する情報技術を知り、インターネットを用いたマーケティングへの理解を深め、実践することができる。
	デザイン2 Design II	選択 必修	演習	60	(4)			60		デザインに関する基礎を学び、ホームページ・広告のデザイン基礎を身につけることができる。
	映像制作2 Video Production II	選択 必修	演習	60	(4)			60		映像制作に関わる一連の知識・技術を修得し、自ら企画・制作できる力を身につけることができる。
	スポーツプロモーション Sports Promotion	選択 必修	講義	30	(2)			30		プロモーションの基本である概念を理解し、広報や宣伝スキルなど必要なことを学び、身につけることができる。
イベントディレクション Event Directing	選択 必修	講義	30	(2)			30		イベントの企画や運営、スタッフ管理や全体の進行方法などを学習し、現場指揮や監督する力を身につけることができる。	
ファンディング Funding	選択 必修	講義	30	(2)			30		スポーツビジネスにおいて必要となる、資金調達に関する目的やその方法などを学び、理解することができる。	
マーケティング2 Marketing II	選択 必修	講義	30	(2)				30	マーケティングの知識を修得し、実践的なマーケティングにおいて解決・対応できる力を身につけることができる。	

2025年度 教育課程

スポーツ科学科 スポーツビジネスコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期		
専門分野	専門科目										
		WEBマーケティング2 Web Marketing II	選択 必修	講義	30	(2)				30	日々変化する情報技術を知り、インターネットを用いたマーケティングへの理解を深め、実践することができる。
		映像制作3 Video Production III	選択 必修	演習	60	(4)				60	映像制作に関わる一連の知識・技術を修得し、自ら企画・制作できる力を身につけることができる。
		イベント2 Event Planning II	選択 必修	講義	30	(2)				30	資料作成技術、プレゼンテーション能力、ビジネススキルを身につけることができる。
		スポーツビジネス3 Sports Business III	選択 必修	講義	30	(2)				30	「スポーツによって人が動く仕組みづくり」や「スポーツへの参画率を高める仕組みづくり」について説明ができる。
		スポーツプロモーション2 Sports Promotion II	選択 必修	講義	30	(2)				30	プロモーションの基本である概念を理解し、広報や宣伝スキルなど必要なことを学び、身につけることができる。
		イベントディレクション2 Event Directing II	選択 必修	講義	30	(2)				30	イベントの企画や運営、スタッフ管理や全体の進行方法などを学習し、現場指揮や監督する力を身につけることができる。
ファンディング2 Funding II	選択 必修	講義	30	(2)				30	スポーツビジネスにおいて必要となる、資金調達に関する目的やその方法などを学び、理解することができる。		

2025年度 教育課程

スポーツマネジメントテクノロジー科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎 科目	進路指導 Career Guidance	選択 必修	講義	120	(8)	30	30	30	30					業界研修、就職活動、資格取得に向けての準備を行い、自らの進路を考えることができる。
	就職対策講座 Employment Preparation Course	選択 必修	講義	60	(4)						30	30		目標とする就職先に就くための準備を行い、また卒業後のキャリアプランを考えることで生きる力を育むことができる。
	コミュニケーションスキル Communication Skill	必修	講義	30	(2)	30								社会人として人間関係作りのツールとなるコミュニケーション能力を身につけることができる。
	コンピュータ Information Literacy	必修	演習	60	(4)	30	30							ビジネス能力の一つとして、Microsoft officeの基礎技術を修得することができる。
	デザイン Design	選択 必修	演習	120	(8)		60	60						デザインソフトの基本操作を学び、デザイン力を身につけることができる。
	プログラミング Programming	選択 必修	演習	60	(4)						60			データをスピーディーに高い精度で編集・分析し、意思決定するためのソフト操作を身につけることができる。
	起業論 Entrepreneurship Theory	選択 必修	講義 演習	30	(2)							30		起業する際に必要な知識を身につけることができる。
	PV・モチベーションビデオ Promotion & Motivation Video	選択 必修	演習	60	(4)							60		プロモーションやモチベーションビデオの制作とプレゼンテーション能力を身につけることができる。
	グローバル コミュニケーション Global Communication	選択 必修	演習	120	(8)	120								スピーキング、リスニング、ライティング、リーディングの能力を高め、ビジネスで使える英会話スキルを身につけることができる。
	グローバル コミュニケーション2 Global Communication II	選択 必修	演習	120	(8)		120							スピーキング、リスニング、ライティング、リーディングの能力を高め、ビジネスで使える英会話スキルを身につけることができる。
	グローバル コミュニケーション3 Global Communication III	選択 必修	演習	120	(8)			120						スピーキング、リスニング、ライティング、リーディングの能力を高め、ビジネスで使える英会話スキルを身につけることができる。
	グローバル コミュニケーション4 Global Communication IV	選択 必修	演習	120	(8)				120					スピーキング、リスニング、ライティング、リーディングの能力を高め、ビジネスで使える英会話スキルを身につけることができる。
	グローバル コミュニケーション5 Global Communication V	選択 必修	演習	60	(4)						60			スピーキング、リスニング、ライティング、リーディングの能力を高め、ビジネスで使える英会話スキルを身につけることができる。
	グローバル コミュニケーション6 Global Communication VI	選択 必修	演習	60	(4)							60		スピーキング、リスニング、ライティング、リーディングの能力を高め、ビジネスで使える英会話スキルを身につけることができる。
専門 基礎 科目	スポーツ生理学 Exercise Physiology	必修	講義	60	(4)	30	30							運動によって生じるからだの変化や適応状態について基礎的な知識を持ち、運動によって起こる身体機能変化を理解できる。
	体力測定法 Physical Fitness Test	必修	演習	30	(2)	30								体力の構成概念に基づいた各要素の知識を深めると共に、それぞれの正しい体力測定法を理解し、説明できる。

2025年度 教育課程

スポーツマネジメントテクノロジー科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎科目	コンディショニング Conditioning	必修	演習	30	(2)	30								身体の調整を行うための技術を身に付け、実際に身体調整ができる。
	フィットネスエクササイズ Fitness Exercise	必修	演習	30	(2)	30								エアロビックな運動の特性を理解し、正しいステップ・筋コンディショニングの技術を身につけることができる。
	コーチング論 Instruction and Coaching	必修	講義	30	(2)	30								運動指導に必要な指導法や、コーチングにおける知識を学ぶと同時に、具体例を提示し実用的なコーチングスキルを身につけ、まとめることができる。
	水中運動指導法 Teaching Method of Aquatics	必修	演習	15	(1)	15								水の特性を学び、対象者に応じた水中運動の指導法を学ぶとともに水泳の基本動作を指導できる。
	スポーツ医学 Sports Medicine	必修	講義	30	(2)		30							スポーツ障害のみならず、内科的疾患を有する人々のスポーツ医学や薬物の基礎知識を理解し、障害予防でのリハビリテーション、コンディショニングを修得することができる。
	プログラムデザイン Program Design	必修	講義	30	(2)		30							対象者別のトレーニングプログラムの作成方法を身につけることができる。
	スポーツ心理学 Sports Psychology	選択 必修	講義	30	(2)			30						運動指導する際に心理学に関する科学的な専門知識を身に付け、指導に活かすことができる。
	スポーツ栄養学 Sports Nutrition	選択 必修	講義	60	(4)			30	30					一般人の健康維持のための栄養・食事摂取の重要性を正しく理解し、コンディショニングと競技力向上を目指した食事の実践方法を説明できる。
	健康管理概論 Health Care Theory	選択 必修	講義	30	(2)			30						健康づくりや疾病予防の基礎的な知識や考え方を理解し、年代層に応じた健康指導を説明できる。
	発育発達 Growth & Development	選択 必修	講義	30	(2)							30		発育段階に応じた運動指導を学び、指導を行うことができる。
スポーツ社会学 Sports Sociology	選択 必修	講義	30	(2)								30	スポーツの歴史を学び、スポーツが社会へ及ぼす影響について、読み解く力を身につけることができる。	
専門科目	コーチング Coaching	選択 必修	演習	180	(12)	30	30	30	30		30	30		競技スポーツのルールや戦術を学ぶと共に、実際に様々な競技を体験し、競技特性について知識を身につけることができる。
	テクノロジー Technology	選択 必修	演習	15	(1)				15					デジタル技術を体験することにより、これからの未来を創造しながらデジタル技術を身につけることができる。

2025年度 教育課程

スポーツマネジメントテクノロジー科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
特別 教育 科目	進級制作 Promotion Work	選択 必修	演習	120	(8)			30	30		30	30		ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表することができる。
	卒業制作 Graduation Work	選択 必修	演習	30	(2)							30		ゼミ活動を通して研究した成果についてまとめ、発表することができる。
	専門実技演習 Professional Practical Exercise	選択 必修	演習	30	(2)			30						専門的な実習を通し、より専門性の高い指導や説明することができる。
	グローバルプログラム Global Program	選択 必修	演習	450	(30)					450				国際教育を通して、語学力、コミュニケーション力を高め、ビジネスで使える英会話スキルを身につけることができる。
	海外実学研修 Overseas Study Tour	選択	実習	時数による				随時						海外の歴史、文化に触れ、国際的な感性を養う。また施設の見学、体験を通して、最先端の技術を身につけることができる。
	企業プロジェクト Corporate Projects	選択 必修	演習	120	(8)								随時	プロジェクトを通じ、企画力、マネジメント力、プレゼンテーション力を修得することができる。
	現場実習 Field Training	選択 必修	実習	120	(4)								随時	現場活動を通して求められるスキルやマインドを身につけると共に、活動で起こる問題について討論を行い、現場力を身につけることができる。
	ボランティア実習 Volunteer Training	選択 必修	実習	時数による									随時	奉仕活動を通して、ボランティア精神を身につけることができる。
	グローバルスポーツ Global Sports	選択 必修	実習	時数による									随時	国際教育を通して、グローバルで活躍できる専門知識を身につけることができる。
	業界研修 Work Experience Program	選択 必修	実習	時数による									随時	学習した知識・技術を実践で使い、実践力や社会人基礎力を身につけることができる。
	特別講義 Special Lecture	選択 必修	講義	時数による									随時	業界の第一線で活躍している講師による講義を受け、最先端の知識を身につけることができる。
	Wメジャー W Major	選択 必修	講義 演習	時数による									随時	目指す分野以外での専門知識を身につけることができる。

2025年度 教育課程

スポーツマネジメントテクノロジー科 コース共通

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
特別 教育 科目	健康運動実践指導者 基礎講座 Health and Exercise Instructor (Basic-Level Lecture)	選択 必修	講義	30	(2)			30						「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動の安全かつ効果的な指導力を身につけることができる。
	健康運動実践指導者 筆記試験対策講座 Health and Exercise Instructor (Paper)	選択 必修	講義	30	(2)				30					「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動の安全かつ効果的な指導力を身につけることができる。
	健康運動実践指導者 実技試験対策講座 Health and Exercise Instructor (Practice)	選択 必修	演習	30	(2)				30					「健康運動実践指導者」資格を通して、積極的な健康づくりを目的とした運動の安全かつ効果的な指導力を身につけることができる。
	トレーニング指導者 基礎講座 Basic Seminar for JATI-ATI	選択 必修	講義	30	(2)			30						科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を修得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導力を身につけることができる。
	トレーニング指導者 受験対策講座 Exam Preparation for JATI-ATI	選択 必修	講義	30	(2)				30					科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を修得し、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導力を身につけることができる。
	NSCA-CPT 受験対策講座 Exam Preparation for NSCA	選択 必修	講義	60	(4)			30	30					トレーニングの知識に加え、医学的、運動生理学的な専門知識とトレーニングの指導技術を身につけることができる。
	NSCA-CSCS 受験対策講座 Exam Preparation for NSCA	選択 必修	講義	90	(6)						30	30	30	競技力向上と傷害予防を目的として、安全で効果的かつ、パフォーマンスを最大限に発揮できるエクササイズプログラムデザインを身につけることができる。
	救急法 Technique for Emergency Treatment and Lifesaving	必修	演習	15	(1)		15							人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）を用いた除細動などを修得することができる。
	ドローン検定 Drone Test	選択 必修	演習	15	(1)		15							ドローンに関する知識と操縦するための技術を身につけることができる。
	ビジネス検定対策 Business Test	選択 必修	講義	時数による										随時

2025年度 教育課程

スポーツマネジメントテクノロジー科 プロスポーツAIトレーナーコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専 門 科 目	ゲーム分析 Game Analysis	選択 必修	演習	30	(2)	30								スポーツアナリストとして基本的な、撮影準備、映像取得、ソフト操作までの基本を身につけることができる。
	ゲーム分析2 Game Analysis II	選択 必修	演習	30	(2)	30								スポーツアナリストとして基本的な、撮影準備、映像取得、ソフト操作までの基本を身につけることができる。
	機能的解剖学 Functional Anatomy	選択 必修	講義	30	(2)	30								人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
	ボディケア Body Care Technique	選択 必修	演習	30	(2)	30								ケアの基本的なテクニックを学び、ボディケアを身につけ実践できる。
	レジスタンス Resistance Training	選択 必修	演習	30	(2)	30								トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導をすることができる。
	ゲーム分析3 Game Analysis III	選択 必修	演習	30	(2)		30							スポーツアナリストとして、様々なデータを活用し、チームに必要な情報の集約方法を身につけることができる。
	ゲーム分析4 Game Analysis IV	選択 必修	演習	30	(2)		30							スポーツアナリストとして、様々なデータを活用し、チームに必要な情報の集約方法を身につけることができる。
	ストレングス& コンディショニング Strength & Conditioning	選択 必修	演習	30	(2)		30							ストレングスとコンディショニングの両面の知識を身につけると共に、実技を通して技術を修得することができる。
	トレーニング分析 Training Analysis	選択 必修	演習	30	(2)		30							最先端技術のデバイス操作からデータ活用方法まで身につけることができる。
	機能的解剖学2 Functional Anatomy II	選択 必修	講義	30	(2)		30							人体の構造や生理学的な仕組みを学習し、運動に関わる身体構造や機能の説明をすることができる。
	レジスタンス2 Resistance Training II	選択 必修	演習	30	(2)		30							トレーニング指導をするうえで必要な知識を学び、目的に応じたトレーニングの指導をすることができる。
	ゲーム分析5 Game Analysis V	選択 必修	演習	30	(2)			30						映像分析ソフトを用いて、様々な競技のゲームや練習でのプレーを可視化し、必要な情報に集約する能力を身につけることができる。
	ゲーム分析6 Game Analysis VI	選択 必修	演習	30	(2)			30						映像分析ソフトを用いて、様々な競技のゲームや練習でのプレーを可視化し、必要な情報に集約する能力を身につけることができる。
	ストレングス& コンディショニング2 Strength & Conditioning II	選択 必修	演習	30	(2)			30						ストレングスとコンディショニングの両面の知識を身につけると共に、実技を通して技術を修得することができる。
	トレーニング分析2 Training Analysis II	選択 必修	演習	30	(2)			30						最先端技術のデバイス操作からデータ活用方法まで身につけることができる。
	テクニック Training Technique	選択 必修	演習	30	(2)			30						トレーナーとして、さらに高めたい専門性を追求し、技術力を身につけることができる。
	ゼミ Seminar	選択 必修	演習	30	(2)			30						現場活動での問題発見や解決策をディスカッションし、分析から指導案作成までの能力を身につけることができる。
	スポーツ障害 Sports Injury Theory	選択 必修	講義 演習	30	(2)			30						運動によって生じる整形科学的障害を理解し、目的に応じたテーマを実践することができる。
	スポーツバイオメカニクス Sports Biomechanics	選択 必修	講義 演習	30	(2)			30						スポーツや日常生活にある動作を説明でき、スポーツ動作改善や障害の予防と関連付けることができる。
	スポーツプログラミング Sports Programming	選択 必修	講義	30	(2)			30						トレーニングの原則と効果、ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチの理論を説明することができる。
トレーニング科学 Foundations of Training Theory	選択 必修	講義	30	(2)			30						各種トレーニングの基礎理論、指導方法を学び、トレーニング指導をすることができる。	

2025年度 教育課程

スポーツマネジメントテクノロジー科 プロスポーツAIトレーナーコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門 科目	ゲーム分析7 Game Analysis VII	選択 必修	演習	30	(2)				30					映像分析ソフトを用いて、様々な競技のゲームや練習でのプレーを可視化し、必要な情報に集約する能力を身につけることができる。
	ゲーム分析8 Game Analysis VIII	選択 必修	演習	30	(2)				30					映像分析ソフトを用いて、様々な競技のゲームや練習でのプレーを可視化し、必要な情報に集約する能力を身につけることができる。
	ストレンクス& コンディショニング3 Strength & Conditioning III	選択 必修	演習	30	(2)				30					ストレンクスとコンディショニングの両面の知識を身につけると共に、実技を通して技術を修得することができる。
	トレーニング分析3 Training Analysis III	選択 必修	演習	30	(2)				30					最先端技術のデバイス操作からデータ活用方法まで身につけることができる。
	テクニク2 Training Technique II	選択 必修	演習	30	(2)				30					トレーナーとして、さらに高めたい専門性を追求し、技術力を身につけることができる。
	ゼミ2 Seminar II	選択 必修	演習	30	(2)				30					現場活動での問題発見や解決策をディスカッションし、分析から指導案作成までの能力を身につけることができる。
	ゲーム分析9 Game Analysis IX	選択 必修	演習	30	(2)					30				映像分析ソフトを用いて、様々な競技のゲームや練習でのプレーを可視化し、必要な情報に集約する能力を身につけることができる。
	ゲーム分析10 Game Analysis X	選択 必修	演習	30	(2)					30				映像分析ソフトを用いて、様々な競技のゲームや練習でのプレーを可視化し、必要な情報に集約する能力を身につけることができる。
	ストレンクス& コンディショニング4 Strength & Conditioning IV	選択 必修	演習	30	(2)					30				ストレンクスとコンディショニングの両面の知識を身につけると共に、実技を通して技術を修得することができる。
	トレーニング分析4 Training Analysis IV	選択 必修	演習	30	(2)					30				最先端技術のデバイス操作からデータ活用方法まで身につけることができる。
	テクニク3 Training Technique III	選択 必修	演習	30	(2)					30				トレーナーとして、さらに高めたい専門性を追求し、技術力を身につけることができる。
	ゼミ3 Seminar III	選択 必修	演習	30	(2)					30				現場活動での問題発見や解決策をディスカッションし、分析から指導案作成までの能力を身につけることができる。
	ゲーム分析11 Game Analysis XI	選択 必修	演習	30	(2)						30			映像分析ソフトを用いて、様々な競技のゲームや練習でのプレーを可視化し、必要な情報に集約する能力を身につけることができる。
	ゲーム分析12 Game Analysis XII	選択 必修	演習	30	(2)						30			映像分析ソフトを用いて、様々な競技のゲームや練習でのプレーを可視化し、必要な情報に集約する能力を身につけることができる。
	ストレンクス& コンディショニング5 Strength & Conditioning V	選択 必修	演習	30	(2)						30			ストレンクスとコンディショニングの両面の知識を身につけると共に、実技を通して技術を修得することができる。
	テクニク4 Training Technique IV	選択 必修	演習	30	(2)						30			トレーナーとして、さらに高めたい専門性を追求し、技術力を身につけることができる。
	ゼミ4 Seminar IV	選択 必修	演習	30	(2)						30			現場活動での問題発見や解決策をディスカッションし、分析から指導案作成までの能力を身につけることができる。
	ストレンクス& コンディショニング6 Strength & Conditioning VI	選択 必修	演習	30	(2)							30		ストレンクスとコンディショニングの両面の知識を身につけると共に、実技を通して技術を修得することができる。
テクニク5 Training Technique V	選択 必修	演習	30	(2)							30		トレーナーとして、さらに高めたい専門性を追求し、技術力を身につけることができる。	
ゼミ5 Seminar V	選択 必修	演習	30	(2)								30	現場活動での問題発見や解決策をディスカッションし、分析から指導案作成までの能力を身につけることができる。	

2025年度 教育課程

スポーツマネジメントテクノロジー科 プロスポーツマネジメントコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門 科目	スポーツビジネス Sports Business	選択 必修	講義	30	(2)	30								スポーツ興行の仕組みや課題を、事例をもとに学び、今後のスポーツビジネスの動向やスポーツ×DXのあり方について知見を深めることができる。
	スポーツマネジメント Sports Management	選択 必修	講義	30	(2)	30								スポーツマネジメントを理解する上で、必要な基礎知識や概念を学ぶことで理解することができる。
	フィットネスクラブマ ネジメント Fitnessclub Management	選択 必修	講義	30	(2)	30								店舗運営や企業内人材育成ための基礎知識やスキルを身につけることができる。
	エンタメビジネス Entertainment Business	選択 必修	講義	30	(2)	30								スポーツ現場におけるエンターテインメントの価値や仕組み、その将来性を学び理解することができる。
	スポーツビジネス2 Sports Business II	選択 必修	講義	30	(2)		30							スポーツ興行の仕組みや課題を、事例をもとに学び、今後のスポーツビジネスの動向やスポーツ×DXのあり方について知見を深めることができる。
	映像制作 Video Production	選択 必修	演習	60	(4)		60							映像制作に関わる一連の知識・技術を修得し、自ら企画・制作できる力を身につけることができる。
	スポーツマネジメント2 Sports Management II	選択 必修	講義	30	(2)		30							スポーツマネジメントを理解する上で、必要な基礎知識や概念を学ぶことで理解することができる。
	フィットネスクラブマネジメ ント2 Fitnessclub Management II	選択 必修	講義	30	(2)		30							店舗運営や企業内人材育成ための基礎知識やスキルを身につけることができる。
	エンタメビジネス2 Entertainment Business II	選択 必修	講義	30	(2)		30							スポーツ現場におけるエンターテインメントの価値や仕組み、その将来性を学び理解することができる。
	マーケティング Marketing	選択 必修	演習	30	(2)			30						マーケティングの知識を修得し、実践的なマーケティングにおいて解決・対応できる力を身につけることができる。
	WEBマーケティング Web Marketing	選択 必修	演習	30	(2)			30						日々変化する情報技術を知り、インターネットを用いたマーケティングへの理解を深め、実践することができる。
	映像制作2 Video Production II	選択 必修	演習	60	(4)			60						映像制作に関わる一連の知識・技術を修得し、自ら企画・制作できる力を身につけることができる。
	イベント Event	選択 必修	講義 演習	30	(2)			30						企業から依頼されるスポーツ興行に参加するための企画運営方法を身につけることができる。
	ゼミ Seminar	選択 必修	演習	30	(2)			30						企業課題に対して、PDCAサイクルを回し、実践力を修得することができる。
	スポーツプロモーション Sports Promotion	選択 必修	講義	30	(2)			30						プロモーションの基本である概念を理解し、広報や宣伝スキルなど必要なことを学び、身につけることができる。
	イベントディレクショ ン Event Direction	選択 必修	演習	30	(2)			30						イベントの企画や運営、スタッフ管理や全体の進行方法などを学習し、現場指揮や監督する力を身につけることができる。
	ファンディング Funding	選択 必修	演習	30	(2)			30						スポーツビジネスにおいて必要となる、資金調達に関する目的やその方法を学び、理解することができる。
	マーケティング2 Marketing II	選択 必修	講義	30	(2)				30					マーケティングの知識を修得し、実践的なマーケティングにおいて解決・対応できる力を身につけることができる。
	WEBマーケティング2 Web Marketing II	選択 必修	講義	30	(2)				30					日々変化する情報技術を知り、インターネットを用いたマーケティングへの理解を深め、実践することができる。
	映像制作3 Video Production III	選択 必修	演習	60	(4)				60					映像制作に関わる一連の知識・技術を修得し、自ら企画・制作できる力を身につけることができる。
イベント2 Event II	選択 必修	講義 演習	30	(2)				30					企業から依頼されるスポーツ興行に参加するための企画運営方法を身につけることができる。	
ゼミ2 Seminar II	選択 必修	演習	30	(2)				30					企業課題に対して、PDCAサイクルを回し、実践力を修得することができる。	

2025年度 教育課程

スポーツマネジメントテクノロジー科 プロスポーツマネジメントコース

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門 科目	スポーツビジネス3 Sports Business III	選択 必修	講義	30	(2)				30					スポーツ興行の仕組みや課題を、事例をもとに学び、今後のスポーツビジネスの動向やスポーツ×DXのあり方について知見を深めることができる。
	スポーツプロモーション2 Sports Promotion II	選択 必修	演習	30	(2)				30					プロモーションの基本である概念を理解し、広報や宣伝スキルなど必要なことを学び、身につけることができる。
	イベントディレクション2 Event Directing II	選択 必修	演習	30	(2)				30					イベントの企画や運営、スタッフ管理や全体の進行方法などを学習し、現場指揮や監督する力を身につけることができる。
	ファンディング2 Funding II	選択 必修	演習	30	(2)				30					スポーツビジネスにおいて必要となる、資金調達に関する目的やその方法などを学び、理解することができる。
	スポーツビジネス4 Sports Business IV	選択 必修	講義	30	(2)						30			スポーツ興行の仕組みや課題を、事例をもとに学び、今後のスポーツビジネスの動向やスポーツ×DXのあり方について知見を深めることができる。
	広告宣伝制作 Advertising Production	選択 必修	演習	60	(4)						60			広告や宣伝に関わる技術を学び、ブランド力強化に必要な知識を身につけ、実践することができる。
	マネジメント Management	選択 必修	講義	30	(2)						30			国内外のスポーツ産業に関する取り組みの理解や、クラブ運営・経営の知識を身につけることができる。
	マネジメント2 Management II	選択 必修	講義	30	(2)						30			国内外のスポーツ産業に関する取り組みの理解や、クラブ運営・経営の知識を身につけることができる。
	イベント3 Event III	選択 必修	講義 演習	30	(2)						30			企業から依頼されるスポーツ興行に参加するための企画運営方法を身につけることができる。
	経営学 Business Administration	選択 必修	講義	30	(2)						30			事業計画から資金調達、法律、権利に関する知識を修得することができる。
	ゼミ3 Seminar III	選択 必修	演習	30	(2)						30			企業課題に対して、PDCAサイクルを回し、実践力を修得することができる。
	広告宣伝制作2 Advertising Production II	選択 必修	演習	60	(4)							60		広告や宣伝に関わる技術を学び、ブランド力強化に必要な知識を身につけ実践することができる。
	マネジメント3 Management III	選択 必修	講義	30	(2)							30		国内外のスポーツ産業に関する取り組みの理解や、クラブ運営・経営の知識を身につけることができる。
	マネジメント4 Management IV	選択 必修	講義	30	(2)							30		国内外のスポーツ産業に関する取り組みの理解や、クラブ運営・経営の知識を身につけることができる。
	イベント4 Event IV	選択 必修	講義 演習	30	(2)							30		企業から依頼されるスポーツ興行に参加するための企画運営方法を身につけることができる。
	経営学2 Business Administration II	選択 必修	講義	30	(2)							30		事業計画から資金調達、法律、権利に関する知識を修得することができる。
	ゼミ4 Seminar IV	選択 必修	演習	30	(2)							30		企業課題に対して、PDCAサイクルを回し、実践力を修得することができる。
	マネジメント5 Management V	選択 必修	講義	30	(2)								30	国内外のスポーツ産業に関する取り組みの理解や、クラブ運営・経営の知識を身につけることができる。
マネジメント6 Management VI	選択 必修	講義	30	(2)								30	国内外のスポーツ産業に関する取り組みの理解や、クラブ運営・経営の知識を身につけることができる。	
経営学3 Business Administration III	選択 必修	講義	30	(2)								30	事業計画から資金調達、法律、権利に関する知識を修得することができる。	
ゼミ5 Seminar V	選択 必修	演習	30	(2)								30	企業課題に対して、PDCAサイクルを回し、実践力を修得することができる。	